

「こどもの読書に関するアンケート」結果報告書

磐田市立図書館

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	
2	調査対象	
3	調査期間	
4	回答数	
5	調査結果の見方	
II	調査結果	2
1	小学3年生	2
2	小学5年生	6
3	中学2年生	10
4	高校2年生	15
5	保護者	20
III	調査表様式	26
1	小学3年生、5年生用様式	
2	中学生、高校生用様式	
3	保護者用様式	

I 調査の概要

1 調査の目的

児童・生徒及び就学前のこどもを持つ保護者の読書状況等を把握し、第5次「こども読書活動推進計画」策定の基礎資料とするため。

2 調査対象

※小学校、中学校、高等学校の児童・生徒と就学前のこどもを持つ保護者からの抽出

※調査対象数が、それぞれの概ね3～4割となるよう中央図書館が抽出し、依頼

■ 市内小学校

対象学年	調査協力 小学校（対象学年全児童）
3年生	磐田西、東部、富士見、豊浜、竜洋北、豊田南、豊岡北
5年生	磐田南、大藤、田原、福田、竜洋東、豊田東、豊岡南

■ 市内中学校

対象学年	調査協力 中学校（対象学年全生徒）
2年生	向陽、福田、竜洋、豊田、豊岡

■ 市内の全高等学校

対象学年	調査協力 高等学校（1クラスを抽出）
2年生	磐田東、磐田西、磐田南、磐田北、磐田農業

■ 市内幼稚園・認定こども園・保育園

調査対象	調査協力園を利用する全保護者
幼稚園	磐田北、豊田北部、豊岡南
こども園	二之宮、岩田、龍の子、 聖隷こども園こうのとり富丘、子育てセンターみなみしま
保育園	磐田北、めいわ竜洋、リーザプレススクール

■ 子育て支援センター

調査対象	センターを利用する保護者（各センター20名程度）
センター	にっこにこ、あいあい、ぽっけ、こどもの家、ふわっと

3 調査期間

令和7年4～5月の2か月間

4 回答数

区分	区分詳細	協力数	回答数（人）			
小学生	小学３年生	7校/22校	412	803	1,520	2,408
	小学５年生	7校/22校	391			
ＹＡ世代	中学２年生	5校/11校	522	717		
	高校２年生	5校/ 5校	195			
保護者	幼稚園	3園/11園	195	888	888	
	保育園(地域型園を含まない)	3園/15園	204			
	認定こども園	5園/16園	398			
	子育て支援センター	3センター/11センター	91			

5 調査結果の見方

- 割合（％）は端数処理の関係上、合計が100％にならない場合がある。
- 複数回答の設問では、割合の合計が100％を超える場合がある。
- 「未記入」は無回答として集計している。

Ⅱ 調査結果

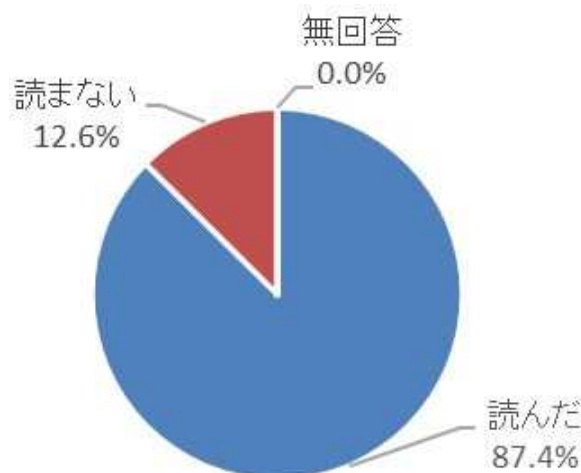
【小学3年生】読書に関するアンケート 集計結果

【回答者数】412人（協力：市内小学校22校のうち7校を抽出、対象学年の全児童に回答を依頼）

【小学3年生】質問1. 1か月間の読書状況（1つだけ選択）

※ 学校での朝読書、授業・宿題での読書等は含まない

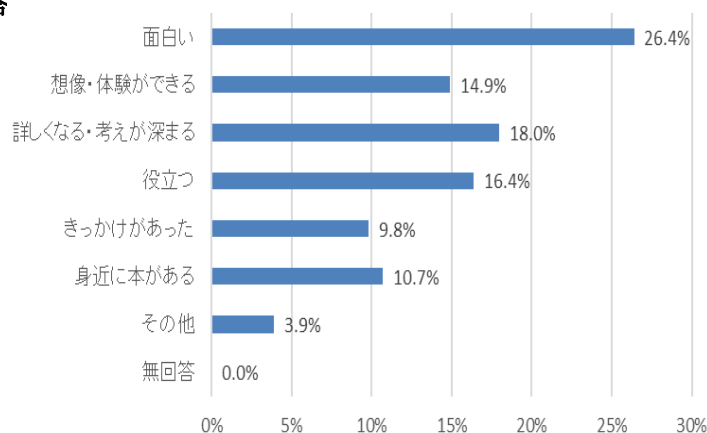
5月の1か月間に学校以外で本を読んだ児童は87.4%と大多数を占め、多くの児童が日常的に読書に親しんでいる状況となっています。一方、12.6%の児童は学校以外では本を読んでおらず、読書機会の少ない児童への働きかけも必要な状況となっています。



【小学3年生】質問2. 読書をした理由（複数選択可）

※質問1で「読んだ」を選択した人が回答

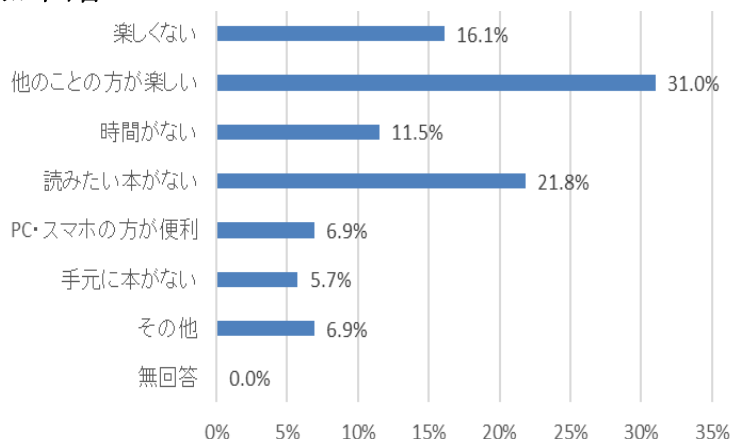
「おもしろいから」（26.4%）が最も高く、次いで「好きなことや興味あることに詳しくなったり、自分の考えが広く深くなったりするから」（18.0%）、「役立つから」（16.4%）となっています。読書の楽しさに加え、興味や学びを深めることも大きな動機となっています。



【小学3年生】質問3. 読書をしなかった理由（複数選択可）

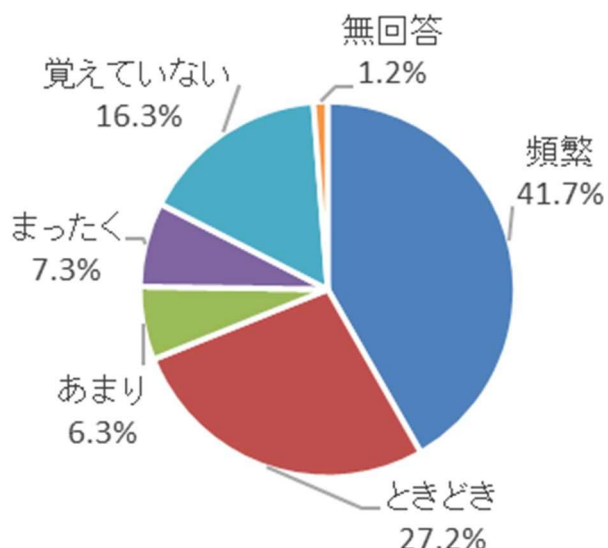
※質問1で「読まなかった」を選択した人が回答

「他のことのほうが楽しいから」（31.0%）が最も高く、次いで「読みたい本がない、何を読んでいいかわからないから」（21.8%）、「楽しくないから」（16.1%）となっています。読書以外への関心が高いことに加え、本との出会いを増やし、読書への興味を高める取組が課題となっています。



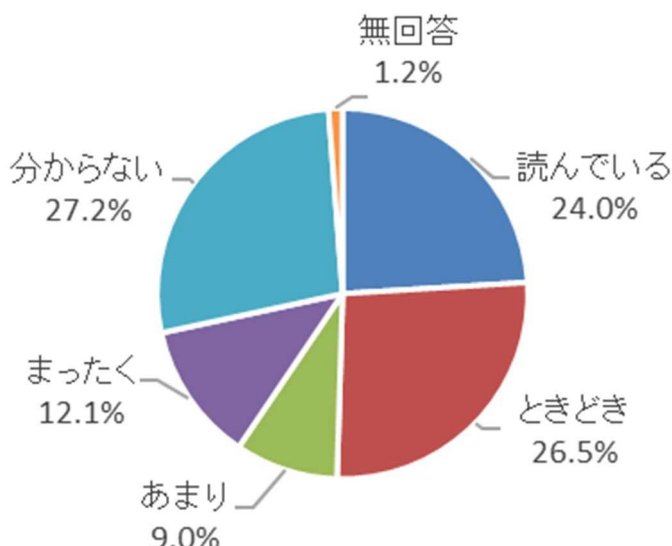
【小学3年生】質問4. 家庭での読み聞かせ経験（1つだけ選択）

「よく読んでもらった」（41.7%）が最も高く、「ときどき読んでもらった」（27.2%）と合わせると約7割を占めており、多くの児童が幼少期から家庭で読み聞かせに親しんできた状況となっています。一方で、読んでもらった経験が少ない児童も一定数いる状況となっています。



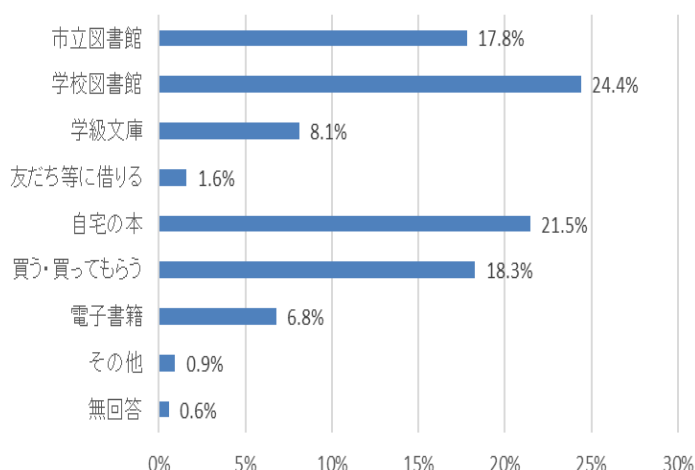
【小学3年生】質問5. 家庭の大人の読書状況（1つだけ選択）

「読んでいる」（24.0%）と「ときどき読んでいる」（26.5%）を合わせると半数を占めており、家庭で読書をする大人が一定数いる状況となっています。一方、「分からない」（27.2%）も多く、保護者の読書状況を把握していない児童も多い状況となっています。



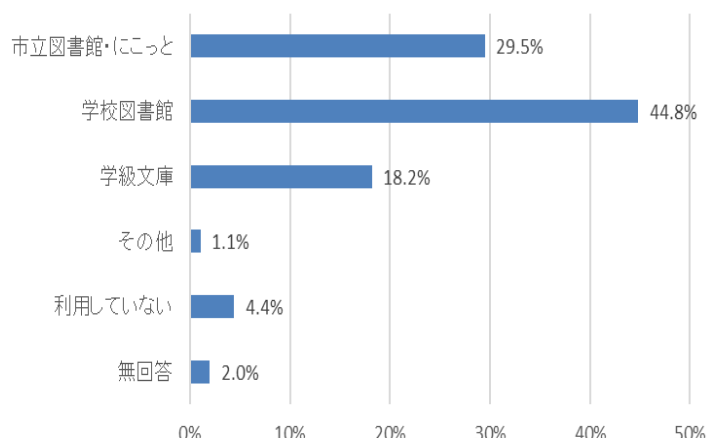
【小学3年生】質問6. 本の入手方法（複数選択可）

「学校図書館から借りる」（24.4%）が最も多く、次いで「自分の家の本」（21.5%）、「本屋さんなどで買う（買ってもらう）」（18.3%）、「市の図書館から借りる」（17.8%）となっています。学校図書館や家庭に加え、市の図書館も本を手に入れる場として利用されています。



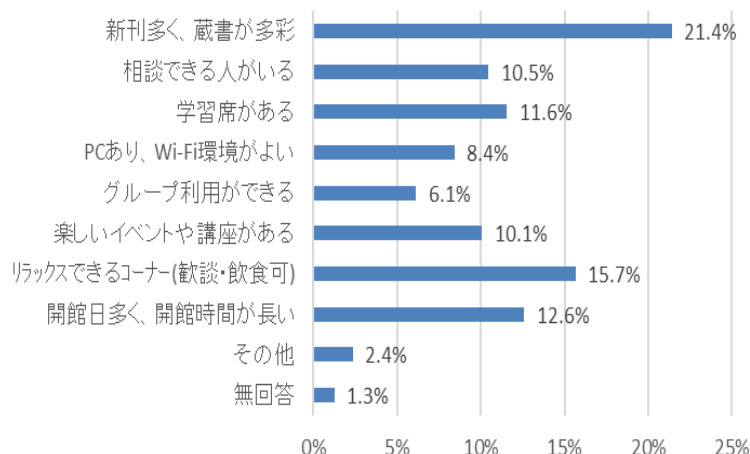
【小学3年生】質問7. 図書館等の利用状況（複数選択可）

「学校図書館（室）」（44.8％）の利用が最も多く、次いで「市の図書館等」（29.5％）、「学級文庫」（18.2％）となっています。学校図書館を中心に身近な読書環境が広く利用され、「利用していない」は4.4％と少ない状況となっています。



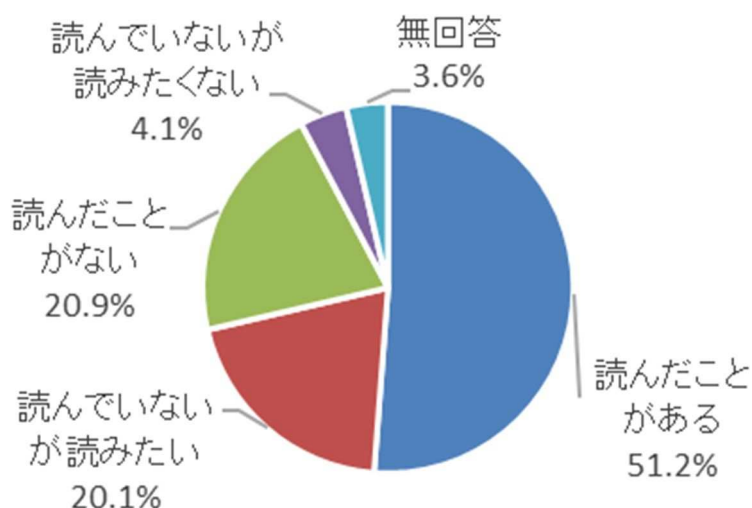
【小学3年生】質問8. 図書館に求めること（複数選択可）

「新しくてきれいな本や、色々な種類の本や雑誌などがある」（21.4％）が最も多く、次いで「リラックスできるコーナー」（15.7％）、「利用したいときに開館している」（12.6％）となっています。資料の充実に加え、快適に過ごせる空間や利用しやすい環境が求められている状況となっています。



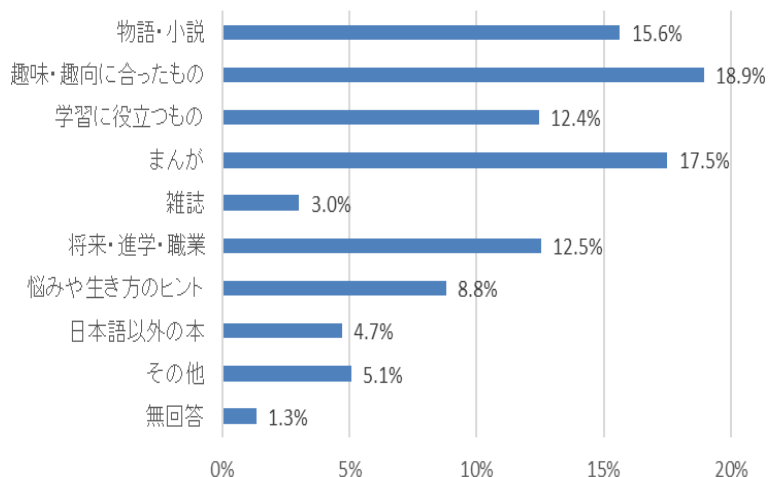
【小学3年生】質問9. 当館所有電子書籍の利用状況（1つだけ選択）

「読んだことがある」（51.2％）が半数を占めて最も多く、「これから読んでみたい」（20.1％）と合わせると7割を超えています。電子書籍は既に広く利用されており、未利用者にも今後の利用意向が見られる状況となっています。



【小学3年生】質問 10. 電子書籍で読みたいジャンル（複数回答可）

「好きなこと・しゅみに関する本」（18.9%）が最も多く、次いで「まんが」（17.5%）、「ものがたり（小説）」（15.6%）、「将来についての本」（12.5%）となっています。興味や楽しみに加え、学習や将来につながる電子書籍も求められている状況となっています。



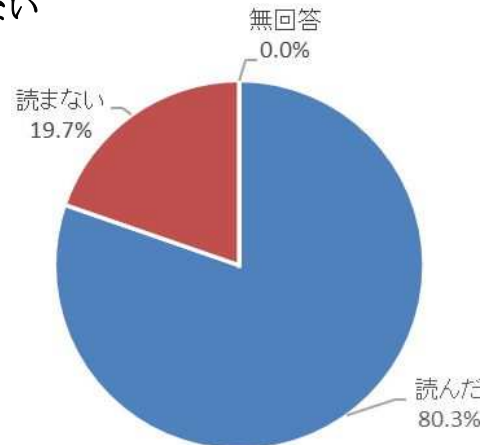
【小学5年生】読書に関するアンケート 集計結果

【回答者数】 391 人（協力：市内小学校 22 校のうち 7 校を抽出、対象学年の全児童に回答を依頼）

【小学5年生】質問 1. 1 か月間の読書状況（1 つだけ選択）

※ 学校での朝読書、授業・宿題での読書等は含まない

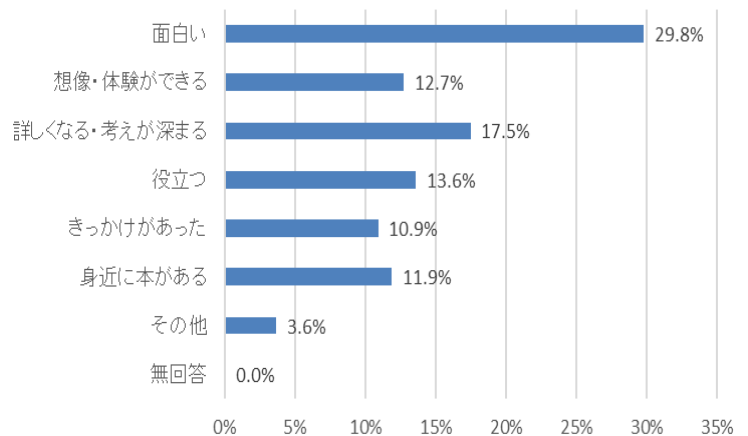
「読んだ」が 80.3%、「読まなかった」が 19.7%となっており、多くの児童が学校外でも読書をしている状況となっています。一方、小学3年生と比べて「読んだ」の割合は 7.1 ポイント低く、学年が上がるにつれて読書習慣がやや低下する傾向となっています。



【小学5年生】質問 2. 読書をした理由（複数選択可）

※質問 1 で「読んだ」を選択した人が回答

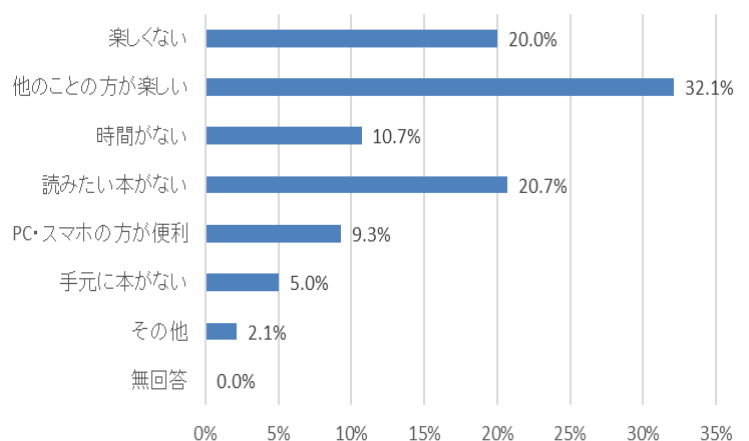
「おもしろいから」(29.8%) が最も高く、次いで「好きなことや興味あることに詳しくなる・考えが深まるから」(17.5%) となっています。小学3年生と比べ、「おもしろさ」を理由とする割合が高く、読書を楽しみとして捉える傾向がやや強くなっています。



【小学5年生】質問 3. 読書をしなかった理由（複数選択可）

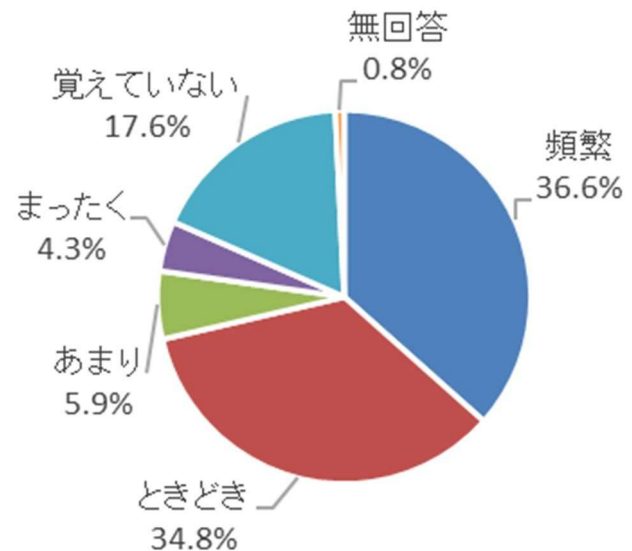
※質問 1 で「読まなかった」を選択した人が回答

「他のことが楽しいから」(32.1%) が最も多く、次いで「読みたい本がない・分からないから」(20.7%)、「楽しくないから」(20.0%) となっています。小学3年生と同様に他の活動への関心や本との出会いの不足が主な理由である一方、読書への興味の低さやデジタル機器の利便性を理由とする割合がやや高くなっています。



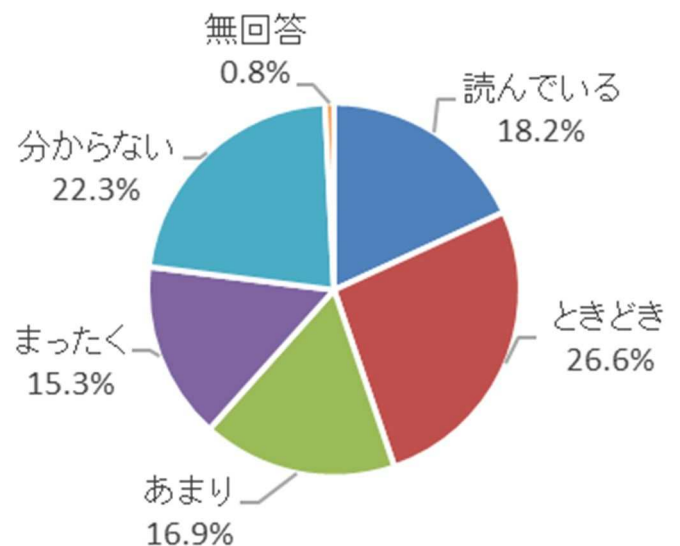
【小学5年生】質問4. 家庭での読み聞かせ経験（1つだけ選択）

「よく読んでもらった」（36.6%）が最も多く、「ときどき読んでもらった」（34.8%）と合わせて71.4%となっています。小学3年生と同様に多くの児童が家庭での読み聞かせを経験している一方、小学3年生と比べて「よく読んでもらった」は5.1ポイント低く、「ときどき読んでもらった」は7.6ポイント高い状況となっています。



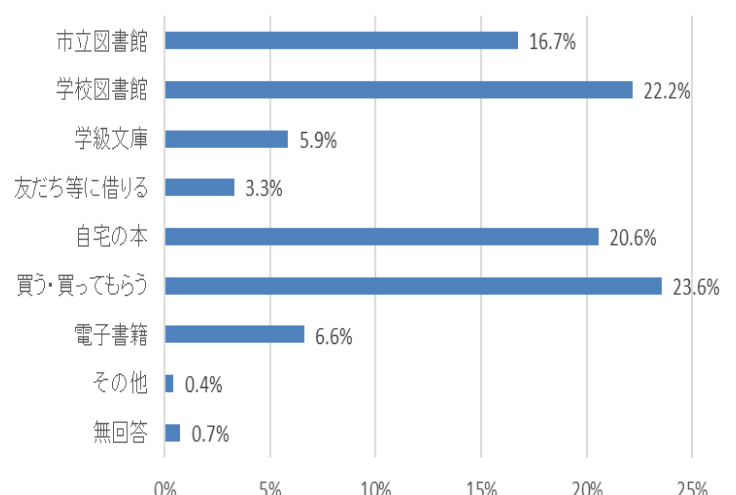
【小学5年生】質問5. 家族の大人の読書状況（1つだけ選択）

「ときどき読んでいる」（26.6%）が最も高く、「読んでいる」（18.2%）を合わせると44.8%となっています。一方、「あまり読んでいない」「まったく読んでいない」の合計は32.2%で、小学3年生の21.1%を上回り、学年が上がるにつれて家庭で大人が読書をしていると感じる割合が低下する傾向となっています。



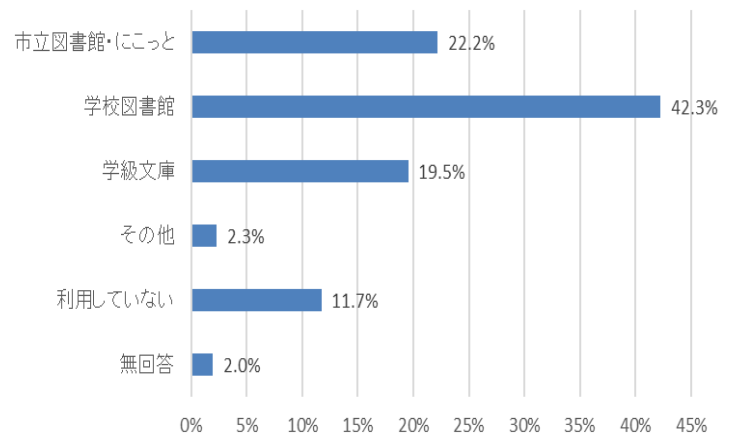
【小学5年生】質問6. 本の入手方法（複数選択可）

「本屋さんなどで買う（買ってもらう）」（23.6%）が最も高く、次いで「学校図書館から借りる」（22.2%）、「自分の家の本」（20.6%）となっています。本を購入する割合は小学3年生の18.3%に比べ5.3ポイント高くなる一方、図書館や学級文庫や市の図書館の利用は低下する傾向となっています。



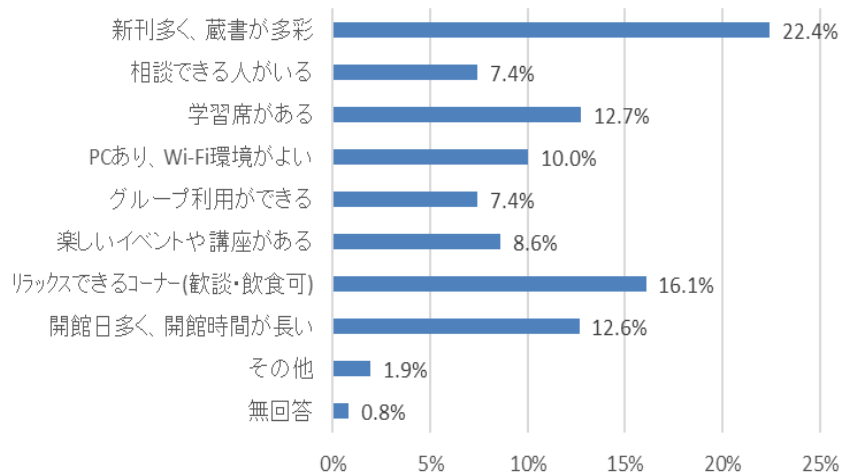
【小学5年生】質問7. 図書館等の利用状況（複数選択可）

「学校図書館（室）」（42.3%）の利用が最も高く、次いで「市の図書館等」（22.2%）、「学級文庫」（19.5%）となっています。小学3年生と比べて市や学校図書館の利用割合がやや低下する一方、「利用していない」は11.7%と、小学3年生の4.4%を大きく上回る結果となっています。



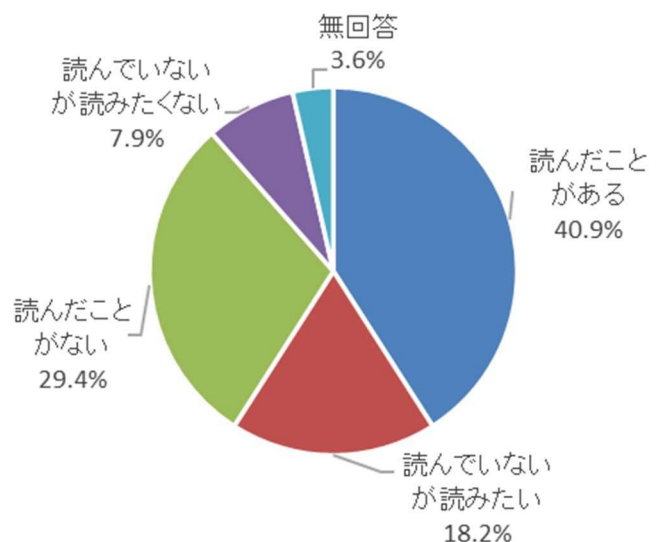
【小学5年生】質問8. 図書館に求めること（複数選択可）

「新しく種類の多い本や雑誌」（22.4%）が最も高く、次いで「リラックスできるコーナー」（16.1%）、「学習席」（12.7%）となっています。小学3年生と比べ、資料の充実や学習環境、Wi-Fi など利便性への期待がやや高い一方、イベントや相談機能への期待は低くなる傾向となっています。



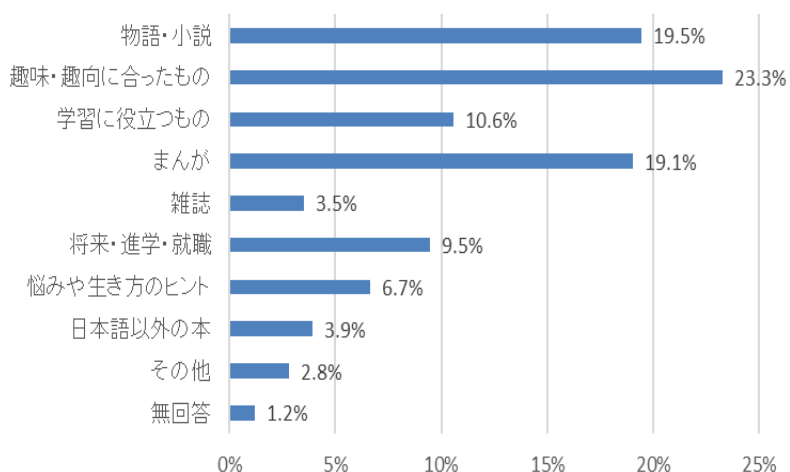
【小学5年生】質問9. 当館所有電子書籍の利用状況（1つだけ選択）

「読んだことがある」（40.9%）が最も高いものの、小学3年生（51.2%）を10.3ポイント下回っています。一方、「読んだことがない」（29.4%）は8.5ポイント、「今後も読みたいとは思わない」（7.9%）は3.8ポイント高く、学年が上がるにつれて利用経験や意向が低下する傾向となっています。



【小学5年生】質問 10. 電子書籍で読みたいジャンル（複数回答可）

「好きなこと・しゅみに関する本」(23.3%)が最も高く、次いで「ものがたり(小説)」(19.5%)、「まんが」(19.1%)となっています。小学3年生と比べ、趣味や物語、まんがへのニーズが高まる一方、学習や将来、悩み・生き方に関する本への関心は低下する傾向となっています。



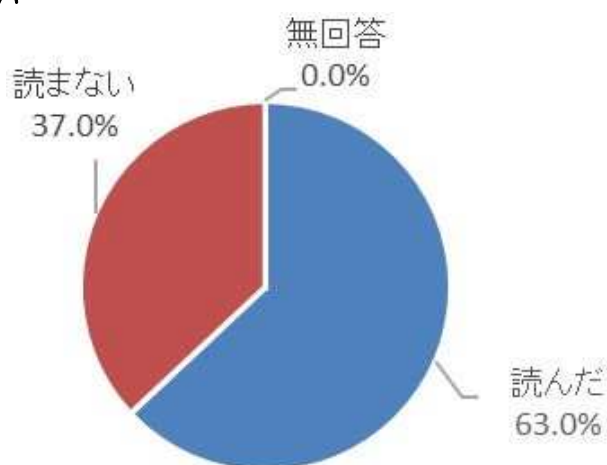
【中学2年生】読書に関するアンケート 集計結果

【回答者数】522人（協力：市内中学校11校のうち5校を抽出、2年生全員に回答を依頼）

【中学2年生】質問1. 1か月間の読書状況（1つだけ選択）

※ 学校での朝読書、授業での読書等は含まない

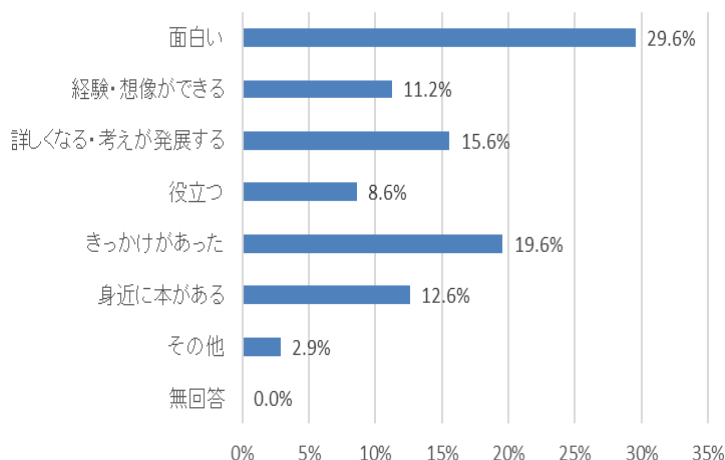
「読んだ」が63.0%、「読まなかった」が37.0%となっています。「読んだ」の割合は小学3年生（87.4%）、小学5年生（80.3%）と比べて低く、学年が上がるにつれて学校外で読書をする割合が減少する傾向となっています。



【中学2年生】質問2. 読書をした理由（複数選択可）

※質問1で「読んだ」を選択した人が回答

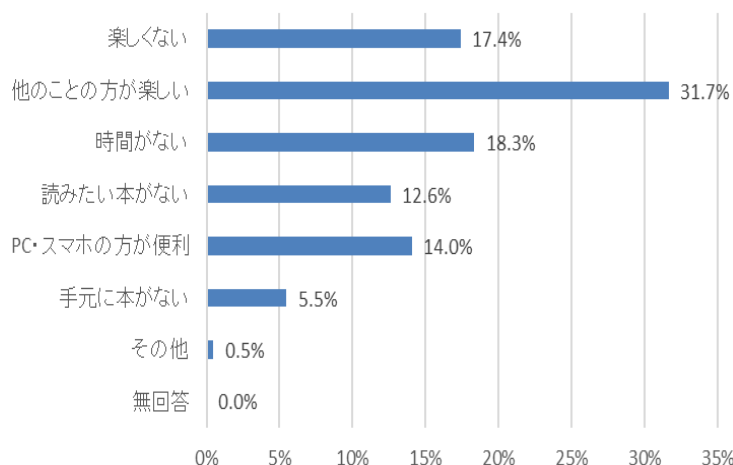
「おもしろいから」(29.6%)が最も高く、次いで「きっかけがあったから」(19.6%)、「興味や考えを深められるから」(15.6%)となっています。小学3年生、小学5年生と比べ、「きっかけがあったから」は8.7～9.8ポイント高く、家族や友人からの紹介、話題の作品との出会いなどが、読書のきっかけとなっていることがうかがえる結果となっています。



【中学2年生】質問3. 読書をしなかった理由（複数選択可）

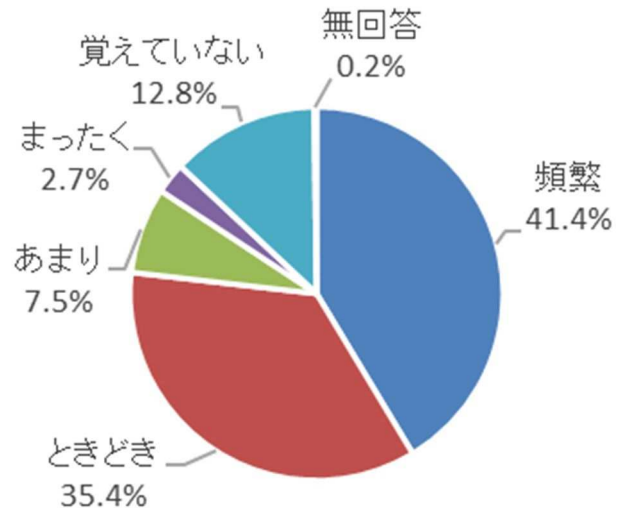
※質問1で「読まなかった」を選択した人が回答

「楽しいことが他にあるから」(31.7%)が最も高く、次いで「時間がないから」(18.3%)、「楽しくないから」(17.4%)となっています。小学3年生、小学5年生と比べ、時間不足やパソコン・スマートフォンの利便性を理由とする割合が高く、読書以外の活動やデジタル機器の影響が強まる傾向となっています。



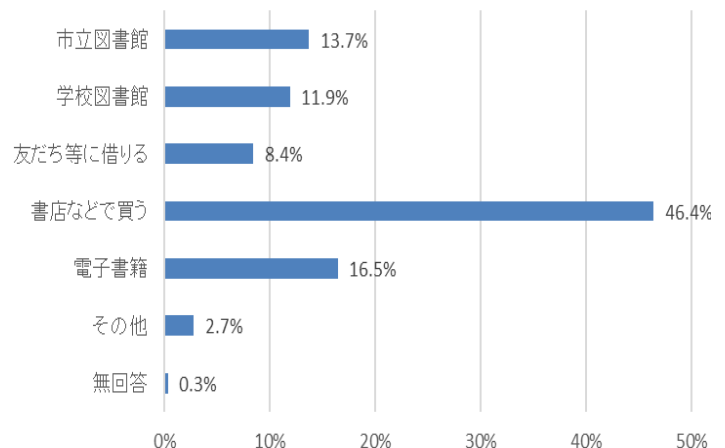
【中学2年生】質問4. 家庭での読み聞かせ経験（1つだけ選択）

「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた割合は76.8%となっています。小学3年生68.9%、小学5年生71.4%と比べても高く、幼少期の家庭での読み聞かせ経験が多い傾向となっています。



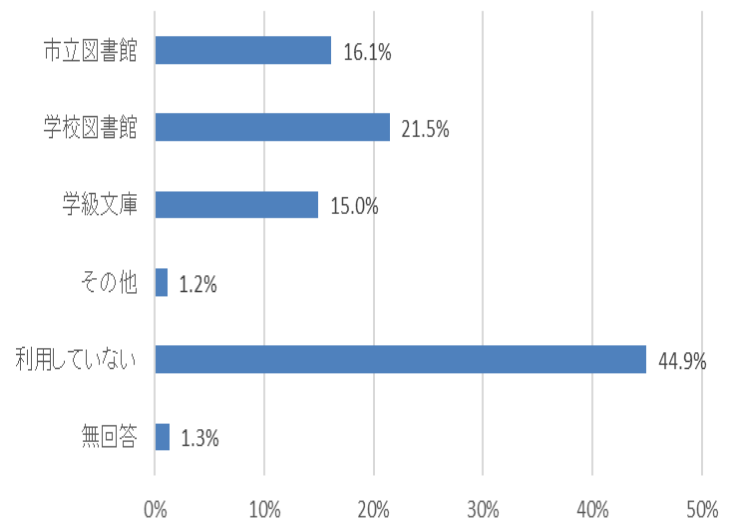
【中学2年生】質問5. 本の入手方法（複数選択可）

「書店などで買う」（46.4%）が突出して高く、次いで「電子書籍を読む」（16.5%）、「市の図書館から借りる」（13.7%）と続く結果となっています。小学3年生、5年生と比べて、購入や電子書籍の利用割合が高く、学校図書館や市の図書館の利用割合は低い傾向となっています。



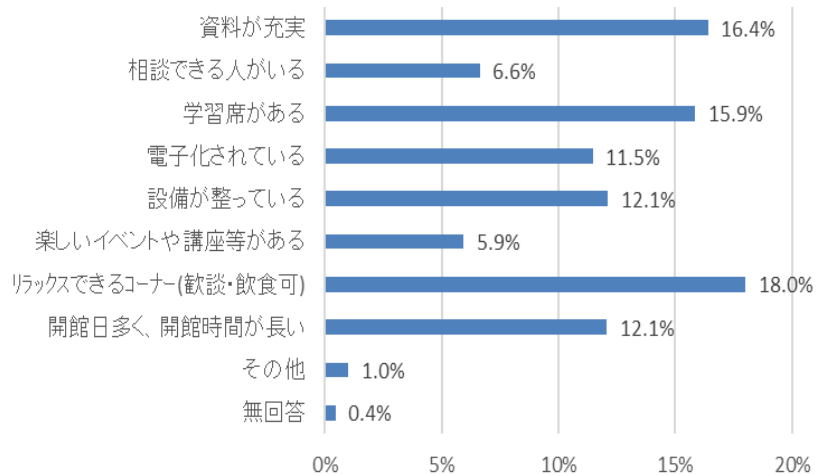
【中学2年生】質問6. 図書館等の利用状況（複数選択可）

「利用していない」（44.9%）が最も高く、図書館等の利用は小学3年生、5年生と比べて低下しています。市の図書館は小学3年生29.5%、小学5年生22.2%、中学2年生16.1%、学校図書館（室）は44.8%、42.3%、21.5%と、いずれも学年が上がるにつれて利用割合が低下する傾向となっています。



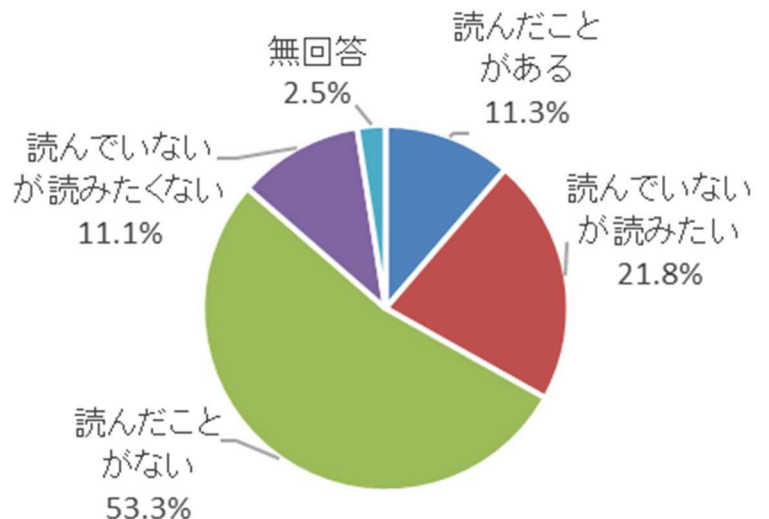
【中学2年生】質問7. 図書館に求めること（複数選択可）

「リラックスできるコーナーがある」（18.0％）が最も高く、次いで「資料が充実している」（16.4％）、「学習席がある」（15.9％）となっています。小学3年生、5年生と比べ、学習環境や快適な空間、電子化を重視する傾向となっています。



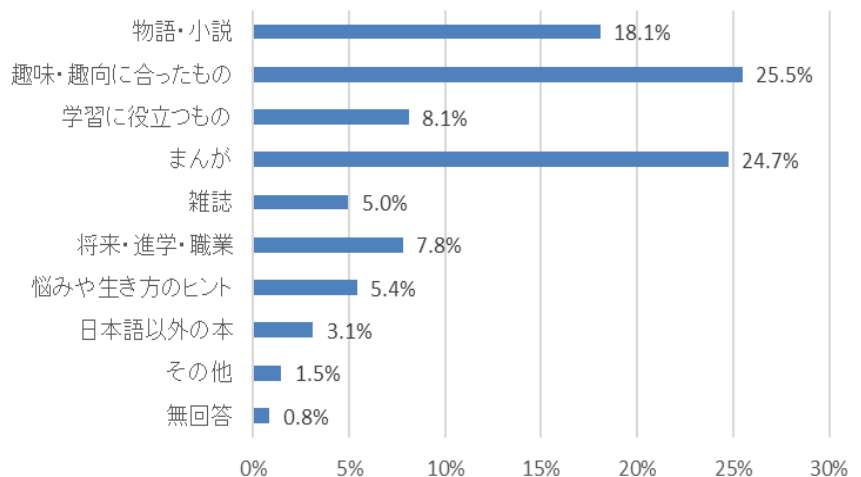
【中学2年生】質問8. 当館所有電子書籍の利用状況（1つだけ選択）

「読んでいない」（53.3％）が最も高く、「読んでことがある」は11.3％にとどまっています。小学3年生（51.2％）、小学5年生（40.9％）の「読んでことがある」と比べ利用経験は少ないものの、「これから読んでみたい」は21.8％あり、今後の利用拡大が期待される結果となっています。



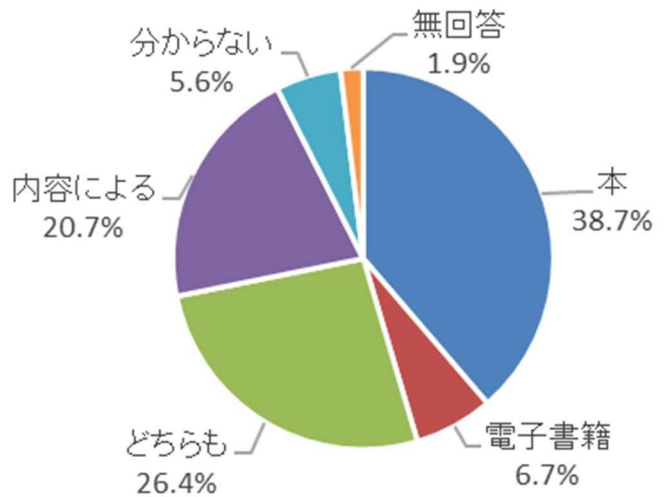
【中学2年生】質問9. 電子書籍で読みたいジャンル（複数回答可）

「好きなこと・趣味に関する本」（25.5％）が最も高く、次いで「まんが」（24.7％）、「ものがたり（小説）」（18.1％）となっています。小学3年生、小学5年生と比べ、趣味や娯楽への関心が高く、学習や将来に関する本へのニーズは低い傾向となっています。



【中学2年生】質問 10. 本と電子書籍の利用意向（1つだけ選択）

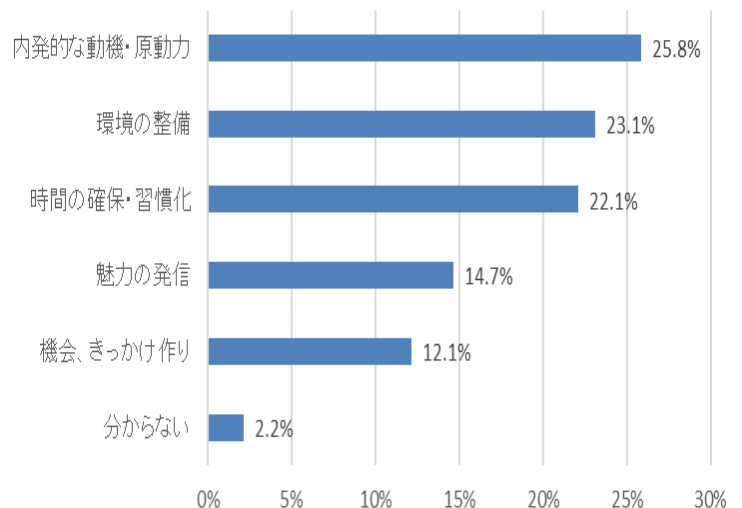
「本を利用したい」（38.7%）が最も高く、次いで「どちらも利用したい」（26.4%）、「本の内容による」（20.7%）となっています。紙の本を好む傾向がある一方、電子書籍も含め、内容や状況に応じて利用したいという多様な意向となっています。



【中学2年生】質問 11. 中高生世代の読書・図書館利用促進のために必要なこと

① 読書促進に必要なこと（自由記述）

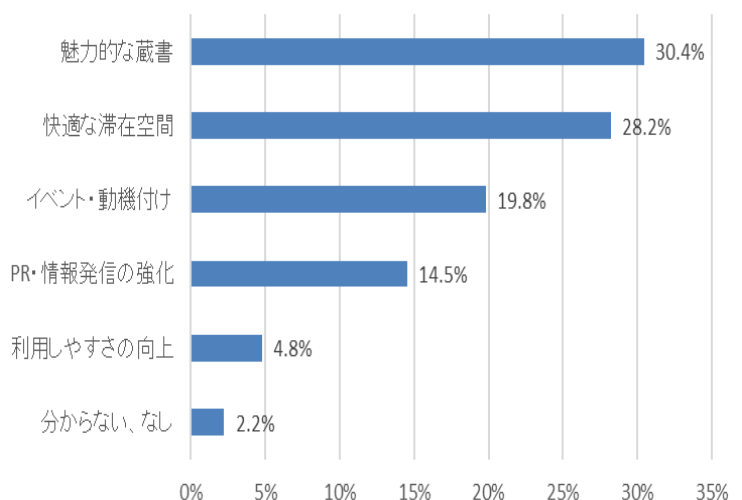
465 人から 511 件の意見が寄せられました。読書への興味・関心を高めることをはじめ、読みたい本がそろった環境、読書時間の確保や習慣化、本の魅力を知るための情報発信、イベントなどのきっかけづくりなど、読書を促すための多様な取組を求めています。特に、自分の興味・関心に合う本と出会えることや、落ち着いて読書できる環境、読書を始めるときっかけなど、読書を無理なく楽しめる環境を重視している傾向となっています。



【中学2年生】質問 11. 中高生世代の読書・図書館利用促進のために必要なこと

② 図書館利用促進に必要なこと（自由記述）

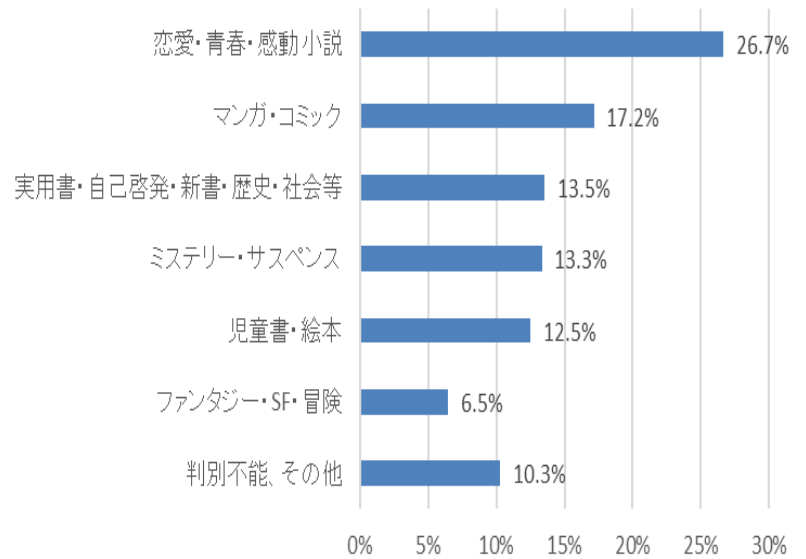
474 人から 585 件の意見が寄せられました。「魅力的な蔵書（読みたい本がそろっていること）」と「快適に過ごせる空間」が図書館利用を促す要素として挙げられており、特に人気・話題作、新刊など、中高生の興味やニーズに合った蔵書の充実が求められています。また、飲食や会話なども含め、リラックスして過ごせる空間や学習スペース、マンガの導入、イベントやポイント制度などの楽しい仕掛け、SNS 等による情報発信、身近な場所での貸出・返却の利便性なども求められています。図書館をより気軽に利用し、楽しく過ごせる場所にしてほしいという要望が多くなっています。



【中学2年生】質問 11. 中高生世代の読書・図書館利用促進のために必要なこと

③ おすすめの本の紹介（自由記述）

398 人から 495 件の意見が寄せられました。「恋愛・青春・感動小説」(26.7%) が最も多く、次いで「マンガ・コミック」(17.2%)、「実用書・自己啓発・新書・歴史・社会等」(13.5%) となっています。ライトノベルを含む恋愛・青春・感動小説のほか、マンガやアニメ、動画などで展開されるクロスメディアコンテンツ、映像化や話題性の高い作品も多く挙げられています。短時間で手軽に読めるシリーズ作品も多く、身近で親しみやすい作品が幅広く支持されるとともに、好きな作家の作品を継続して読む傾向も確認できます。



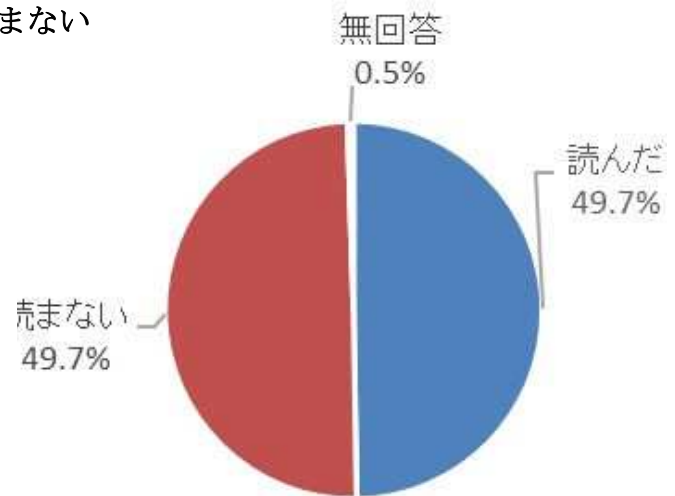
【高校2年生】読書に関するアンケート 集計結果

【回答者数】195人（協力：市内の全校（5校）に、2年生1クラスを抽出しての回答を依頼）

【高校2年生】質問1. 1か月間の読書状況（1つだけ選択）

※ 学校での朝読書、授業での読書等は含まない

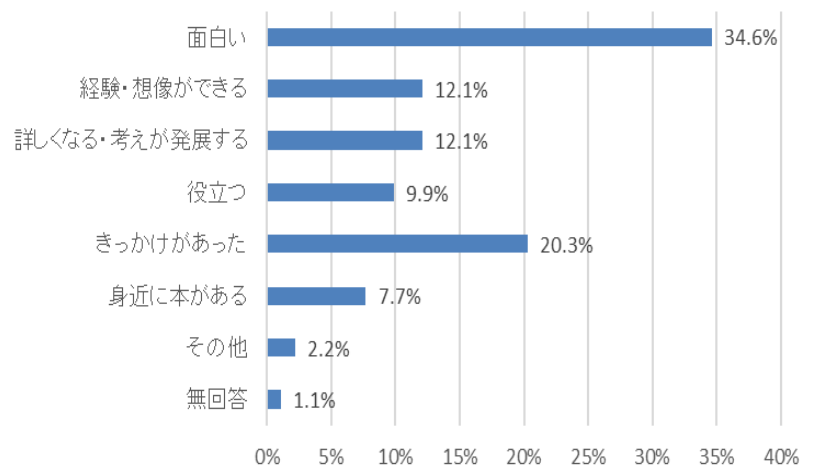
「読んだ」と「読まない」がともに49.7%と同率となっています。「読んだ」の割合は小学3年生87.4%、小学5年生80.3%、中学2年生63.0%と比べて最も低く、学年が上がるにつれて学校外で読書をする割合が減少する傾向となっています。



【高校2年生】質問2. 読書をした理由（複数選択可）

※質問1で「読んだ」を選択した人が回答

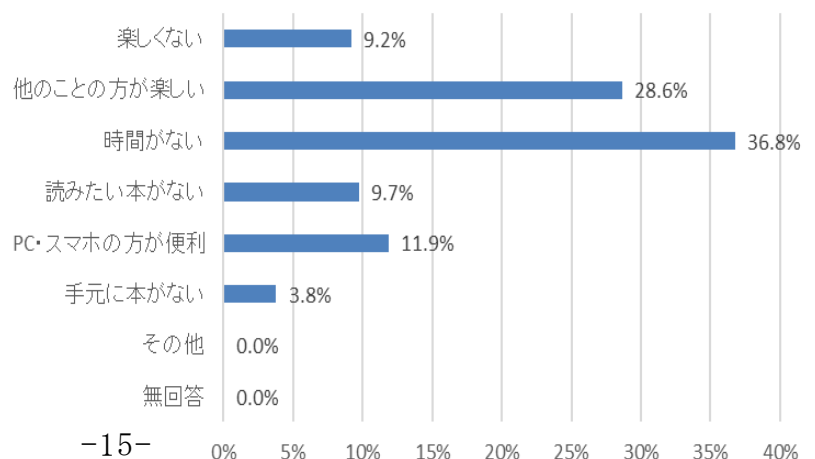
「おもしろいから」（34.6%）が最も高く、次いで「きっかけがあったから」（20.3%）となっています。「おもしろいから」は小学3年生（26.4%）、小学5年生（29.8%）、中学2年生（29.6%）を上回り、読書の楽しさを重視する傾向となっています。



【高校2年生】質問3. 読書をしなかった理由（複数選択可）

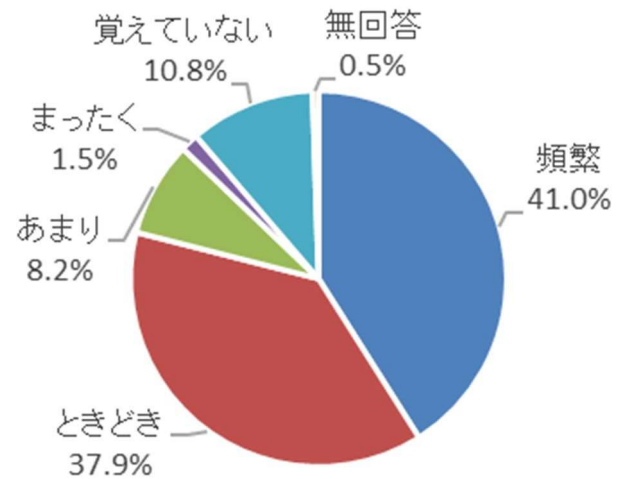
※質問1で「読まなかった」を選択した人が回答

「時間がないから」（36.8%）が最も高く、次いで「楽しいことが他にあるから」（28.6%）となっています。「時間がないから」は小学3年生（11.5%）、小学5年生（10.7%）、中学2年生（18.3%）と比べて大幅に高く、時間不足が読書をしない主な理由となっています。



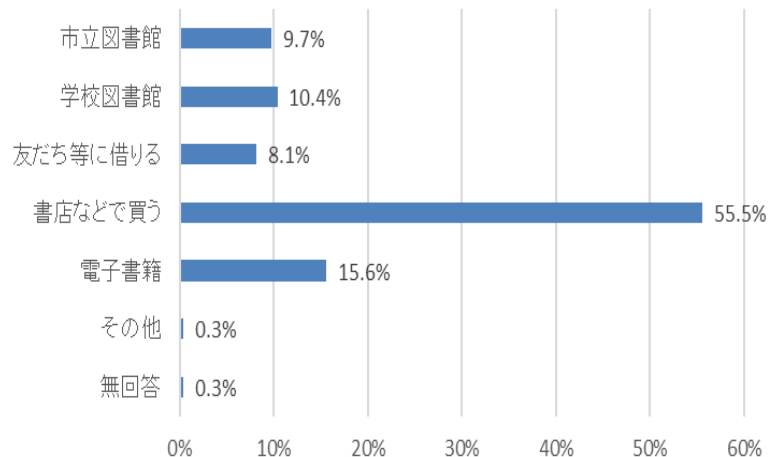
【高校2年生】質問4. 家庭での読み聞かせ経験（1つだけ選択）

「よく読んでもらった」（41.0%）が最も高く、「ときどき読んでもらった」（37.9%）を合わせると78.9%となっています。小学3年生（68.9%）、小学5年生（71.4%）、中学2年生（76.8%）と比べても高く、幼少期に家庭で本を読んでもらった経験が多い結果となっています。



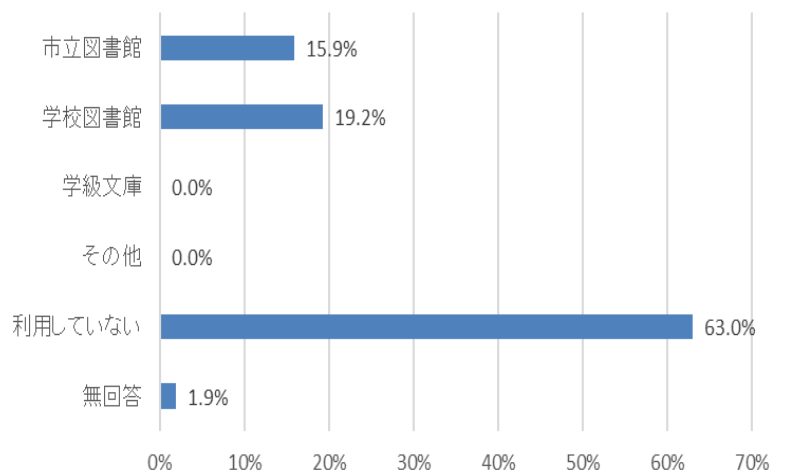
【高校2年生】質問5. 本の入手方法（複数選択可）

「書店などで買う」（55.5%）が突出して高く、次いで「スマートフォンやタブレットを使って電子書籍を読む」（15.6%）となっています。書店などで買う割合は、小学3年生（18.3%）、小学5年生（23.6%）、中学2年生（46.4%）と比べて最も高く、市・学校図書館の利用割合は低い傾向となっています。



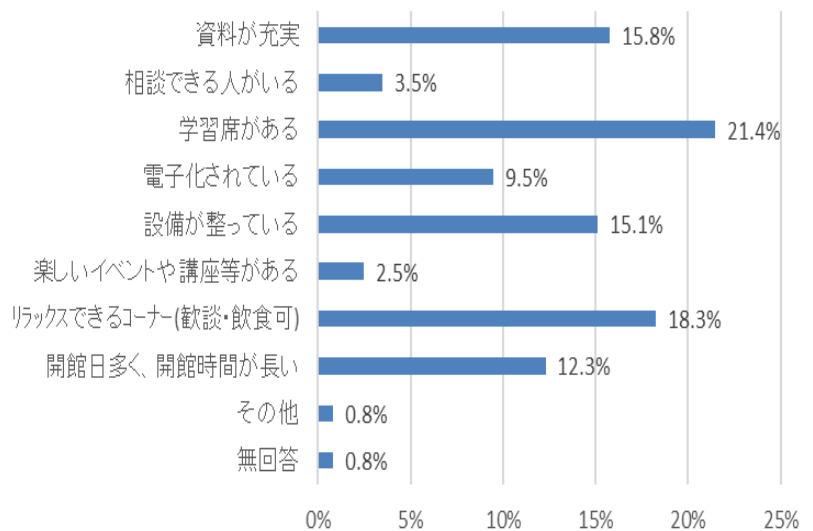
【高校2年生】質問6. 図書館等の利用状況（複数選択可）

「利用していない」（63.0%）が最も高く、市の図書館（15.9%）や学校図書館（19.2%）の利用割合はいずれも低くなっています。「利用していない」の割合は、小学3年生（4.4%）、小学5年生（11.7%）、中学2年生（44.9%）と比べて最も高い傾向となっています。



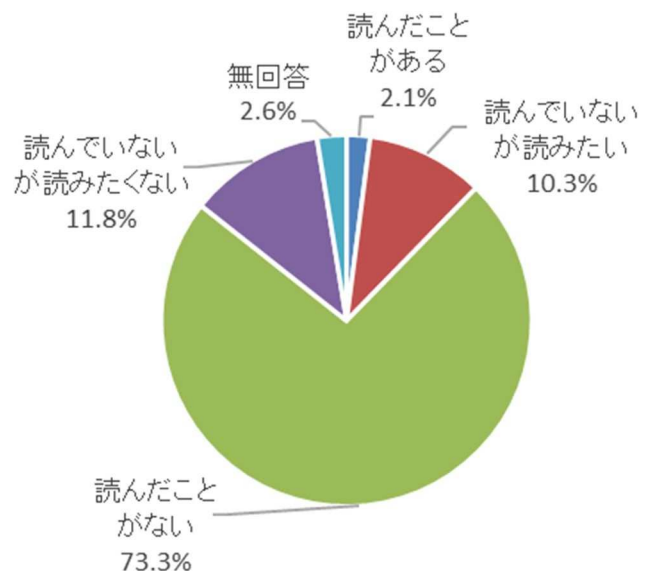
【高校2年生】質問7. 図書館に求めること（複数選択可）

「宿題や勉強ができる学習席がある」(21.4%) が最も高く、次いで「リラックスできるコーナーがある」(18.3%)、「資料が充実している」(15.8%) となっています。小学3年生と小学5年生では「資料が充実している」、中学2年生では「リラックスできるコーナーがある」が最多であるのに対し、高校2年生では学習の場としての図書館へのニーズが特に高く、あわせてリラックスして過ごせる居場所も求められる傾向となっています。



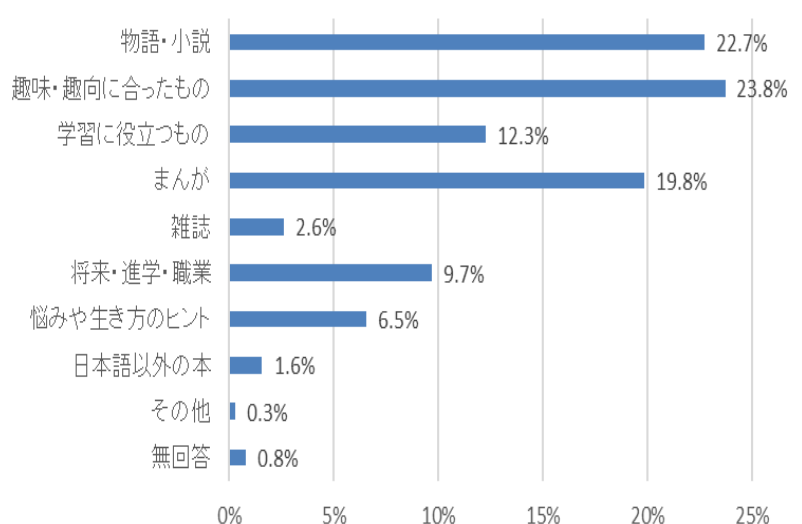
【高校2年生】質問8. 当館所有電子書籍の利用状況（1つだけ選択）

「読んでいない」(73.3%) が最も高く、「読んでことがある」(2.1%) は小学3年生 (51.2%)、小学5年生 (40.9%)、中学2年生 (11.3%) と比べて最も低くなっています。学年が上がるにつれて、当館の電子書籍の利用経験が減少する傾向となっています。



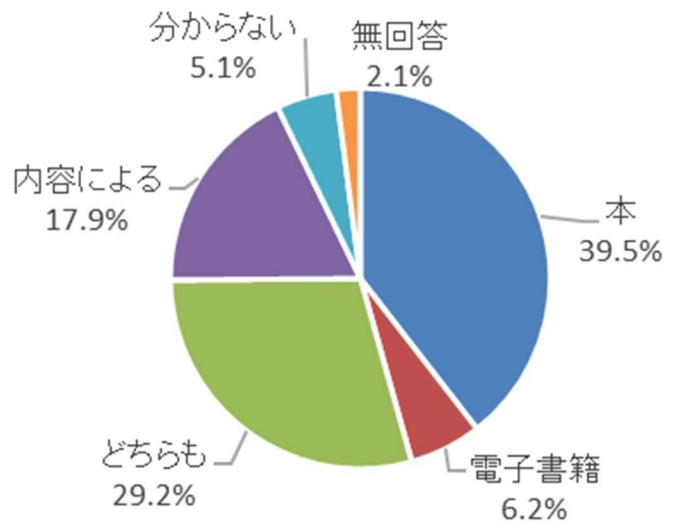
【高校2年生】質問9. 電子書籍で読みたいジャンル（複数回答可）

「好きなこと・趣味に関する本」(23.8%) が最も高く、次いで「ものがたり(小説)」(22.7%)、「まんが」(19.8%) となっています。「好きなこと・趣味に関する本」は、小学3年生 (18.9%)、小学5年生 (23.3%)、中学2年生 (25.5%) においても最も高く、全学年を通じて、自分の興味・関心に応じた電子書籍へのニーズが高い傾向となっています。



【高校2年生】質問 10. 本と電子書籍の利用意向（1つだけ選択）

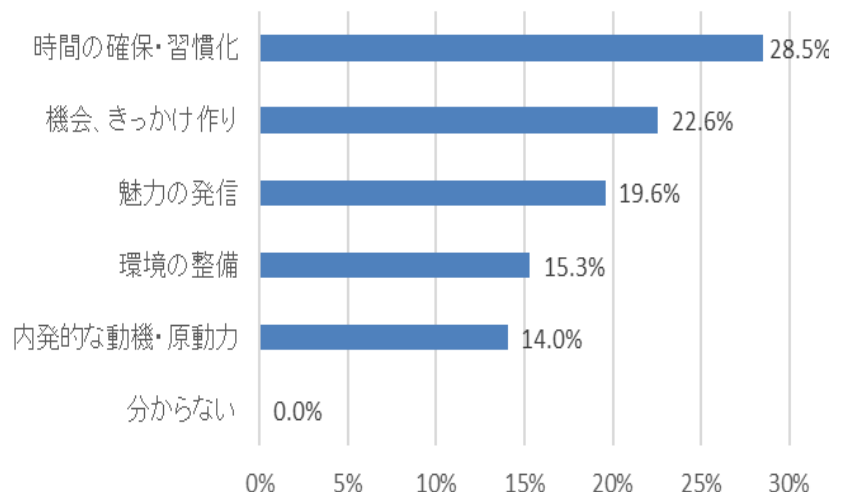
「本」（39.5%）が最も高く、次いで「どちらも」（29.2%）、「本の内容による」（17.9%）となっています。中学2年生でも「本」（38.7%）、「どちらも」（26.4%）、「本の内容による」（20.7%）の順となっており、紙の本を中心としながらも、内容や状況に応じて電子書籍も選択肢とする傾向となっています。



【高校2年生】質問 11. 中高生世代の読書・図書館利用促進のために必要なこと

① 読書促進に必要なこと（自由記述）

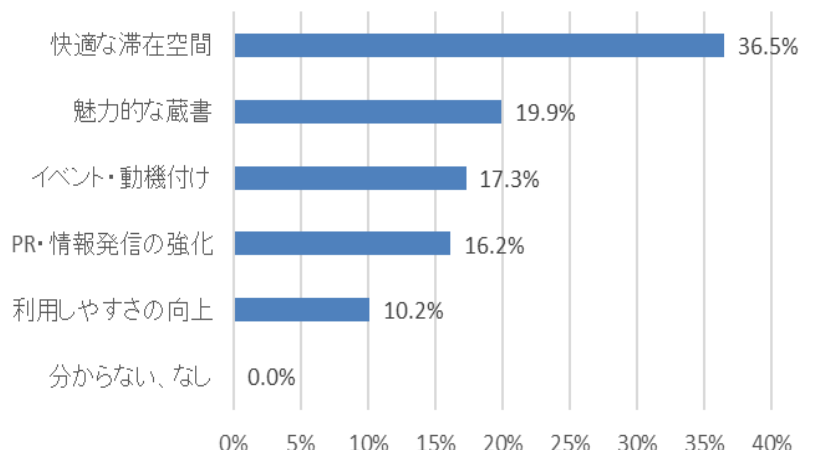
185人から235件の意見が寄せられ、「時間の確保・習慣化」（28.5%）が最も多く、次いで「機会・きっかけ作り」（22.6%）、「魅力の発信」（19.6%）となっています。中学2年生と比べ、「機会・きっかけ作り」や「魅力の発信」の割合が高く、読書時間を確保して習慣化することに加え、イベントやSNSなどを通じて本に触れる機会や本の魅力を知るきっかけを増やすことを重視する傾向となっています。一方、「環境の整備」や「内発的な動機・原動力」は中学2年生より低くなっています。



【高校2年生】質問 11. 中高生世代の読書・図書館利用促進のために必要なこと

② 図書館利用促進に必要なこと（自由記述）

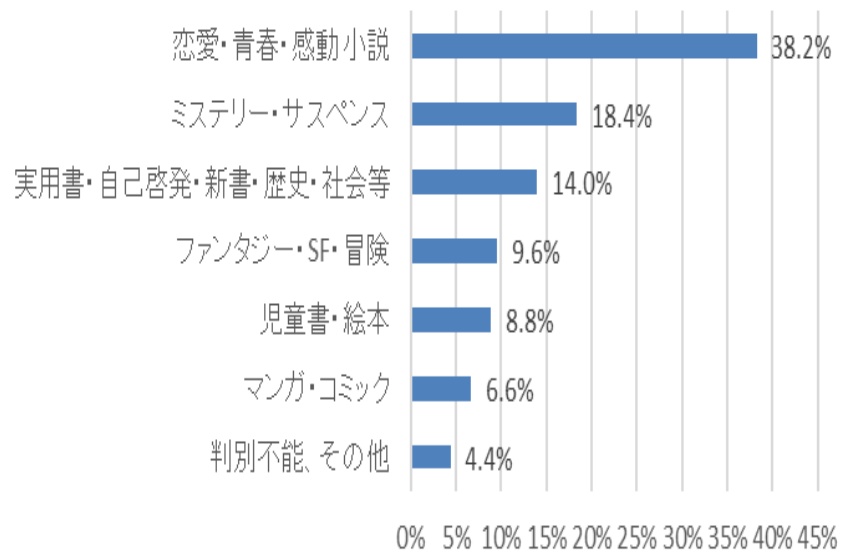
185人から266件の意見が寄せられ、「快適な滞在空間」（36.5%）が最も多く、次いで「魅力的な蔵書」（19.9%）、「イベント・動機付け」（17.3%）となっています。中学2年生と比べ、「快適な滞在空間」は8.3ポイント、「利用しやすさの向上」は5.4ポイント高く、飲食や会話、学習、Wi-Fiなど、目的に応じて快適に過ごせる環境を重視する傾向となっています。また、開館時間の延長や身近な場所での利用など、図書館をより気軽に利用できる利便性も求められる傾向となっています。



【高校2年生】質問 11. 中高生世代の読書・図書館利用促進のために必要なこと

③ おすすめの本の紹介（自由記述）

124 人から 136 件のおすすめ本が寄せられ、「恋愛・青春・感動小説」（38.2%）が最も多く、次いで「ミステリー・サスペンス」（18.4%）、「実用書・自己啓発・新書・歴史・社会等」（14.0%）となっています。中学2年生と比べ、「恋愛・青春・感動小説」は 11.5 ポイント、「ミステリー・サスペンス」は 5.1 ポイント高く、「マンガ・コミック」は 10.6 ポイント低くなっています。高校2年生では、小説を中心に、実用書等も含めた多様なジャンルの本が支持される傾向となっています。

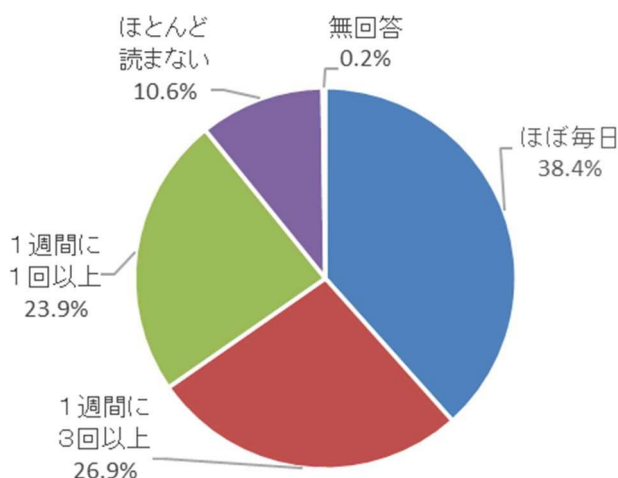


【保護者】読書に関するアンケート 集計結果

【回答者数】 888 人（協力：市内幼稚園、こども園、保育園、子育て支援センター利用者から抽出し依頼）

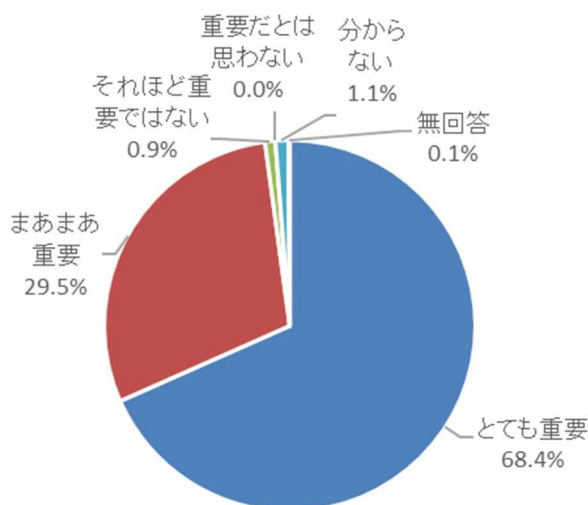
【保護者】質問 1. 家庭での読み聞かせ等の実施状況（1つだけ選択）

「ほぼ毎日読んでいる」（38.4%）が最も多く、「1週間に3回以上」（26.9%）、
「1週間に1回以上」（23.9%）を合わせると 89.2%となっています。約9割の家庭で週1回以上、読み聞かせや親子で本を楽しむ機会が設けられており、家庭での読書活動が広く定着している結果となっています。



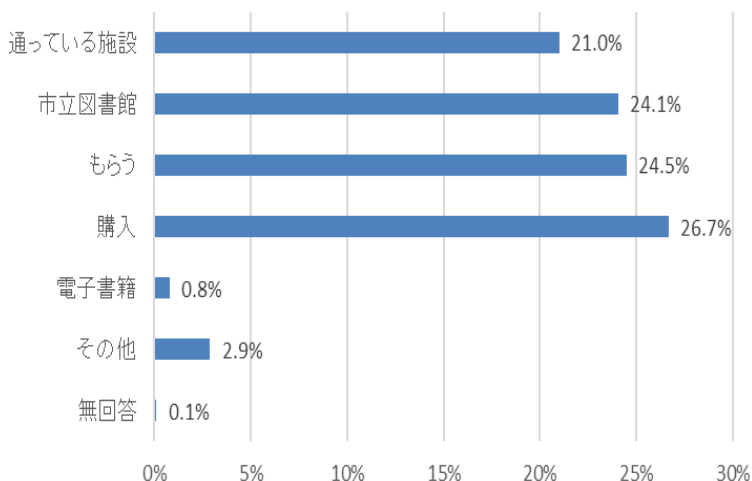
【保護者】質問 2. 読書の重要性に関する意識（1つだけ選択）

「とても重要だと思う」（68.4%）が最も多く、「まあまあ重要だと思う」（29.5%）と合わせると 97.9%となっています。ほぼすべての保護者が読書はこどもの成長に重要だと考えており、読書の意義に対する保護者の認識が非常に高い結果となっています。



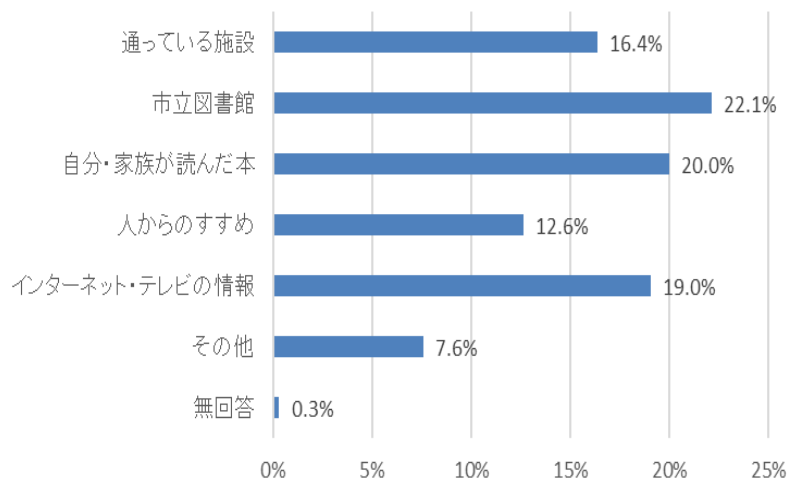
【保護者】質問 3. こどもの本の入手方法（複数選択可）

「書店やインターネットサイトからの購入」（26.7%）が最も多く、次いで「もらう」（24.5%）、「市の図書館から借りる」（24.1%）、「通っている施設から借りる」（21.0%）となっています。購入だけでなく、図書館や園などの施設からの貸出、祖父母等からのプレゼントや友人・知人からの譲り受けなど、多様な方法でこどもの本が用意されている結果となっています。



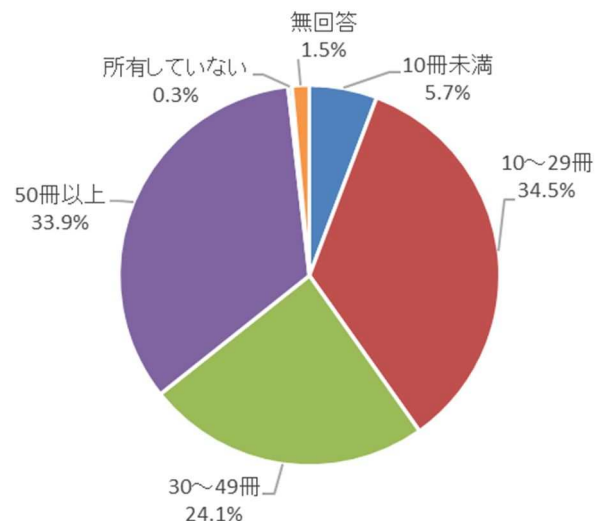
【保護者】質問4. こどもの本の選定方法（複数選択可）

「市立図書館で探す」（22.1%）が最も多く、次いで「自分や家族が子どもの頃に読んだ本を探す」（20.0%）、「インターネットやテレビの情報を参考にする」（19.0%）となっています。図書館の情報や家庭で親しまれた本、メディアからの情報など、複数の情報源を活用して本を選ぶ傾向となっています。



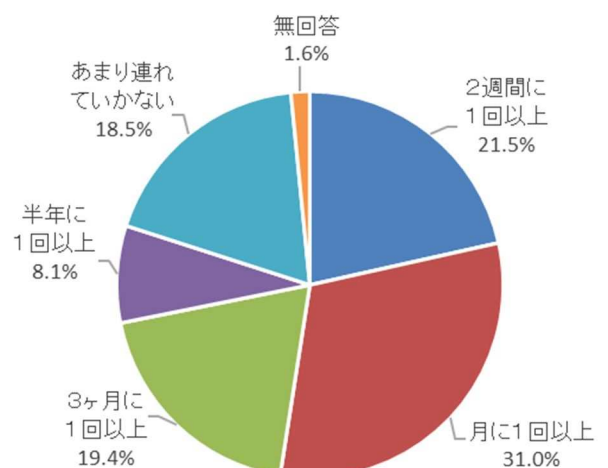
【保護者】質問5. 家庭でのこどもの本の保有状況（1つだけ選択）

「10～29冊」（34.5%）が最も多く、次いで「50冊以上」（33.9%）、「30～49冊」（24.1%）となっています。約6割（58.0%）の家庭で30冊以上のこどもの本を所有しており、家庭に一定数以上のこどもの本が備えられている結果となっています。



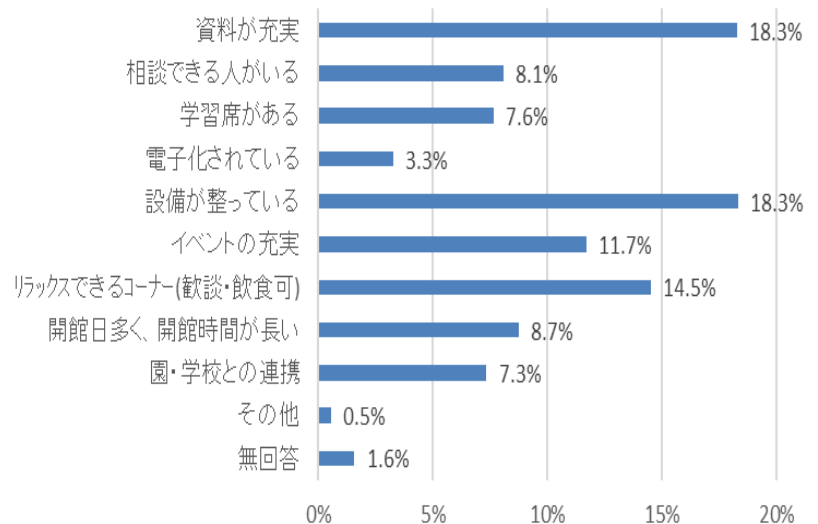
【保護者】質問6. 図書館・書店へ連れて行く頻度（1つだけ選択）

「月に1回以上」（31.0%）が最も多く、「2週間に1回以上」（21.5%）と合わせると半数以上（52.5%）の家庭が月1回以上こどもを図書館や書店に連れて行っています。一方、「あまり連れて行かない」家庭も18.5%あり、家庭によって本と触れ合う機会に差がみられる結果となっています。



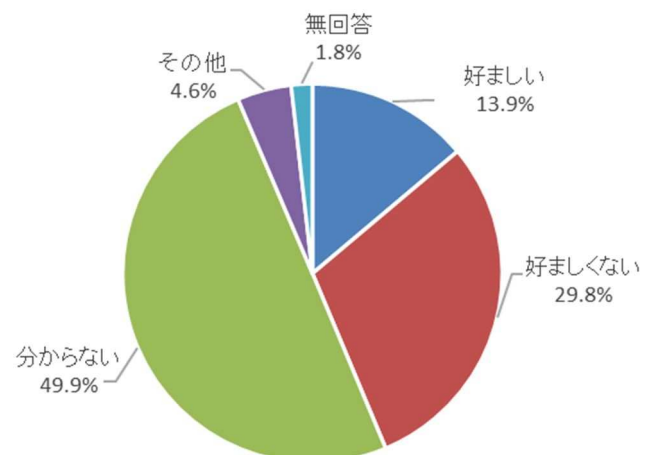
【保護者】質問 7. 図書館に求める機能・サービス（複数選択可）

「設備が整っている」(18.3%)と「資料が充実している」(18.3%)が最も多く、次いで「リラックスできるスペース」(14.5%)、「イベントの充実」(11.7%)となっています。個人・グループで利用できるスペースやこども用トイレ・授乳室などの設備、資料の充実に加え、歓談や飲食ができるなど、親子でくつろいで過ごせる環境への期待も高い結果となっています。



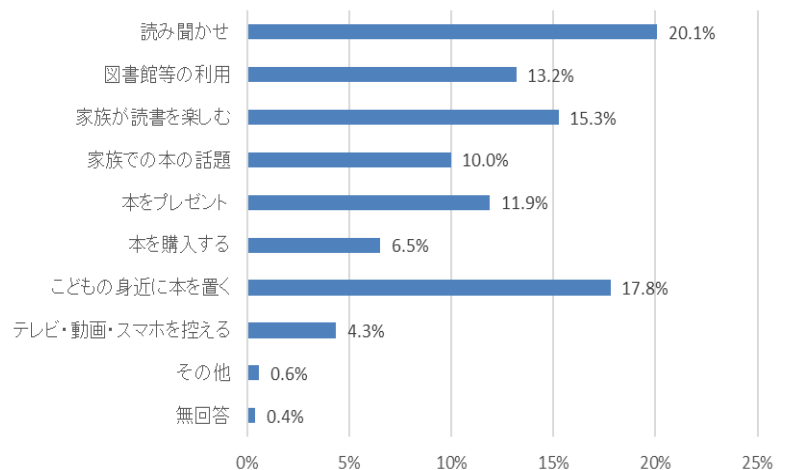
【保護者】質問 8. こどもの電子書籍利用に対する意識（1つだけ選択）

「分からない」(49.9%)が最も多く、次いで「好ましくない」(29.8%)、「好ましい」(13.9%)となっています。電子書籍の利用については、約半数の保護者が判断を決めかねており、明確な賛否を示していない状況となっています。



【保護者】質問 9. 読書習慣の形成に必要なこと（複数回答可）

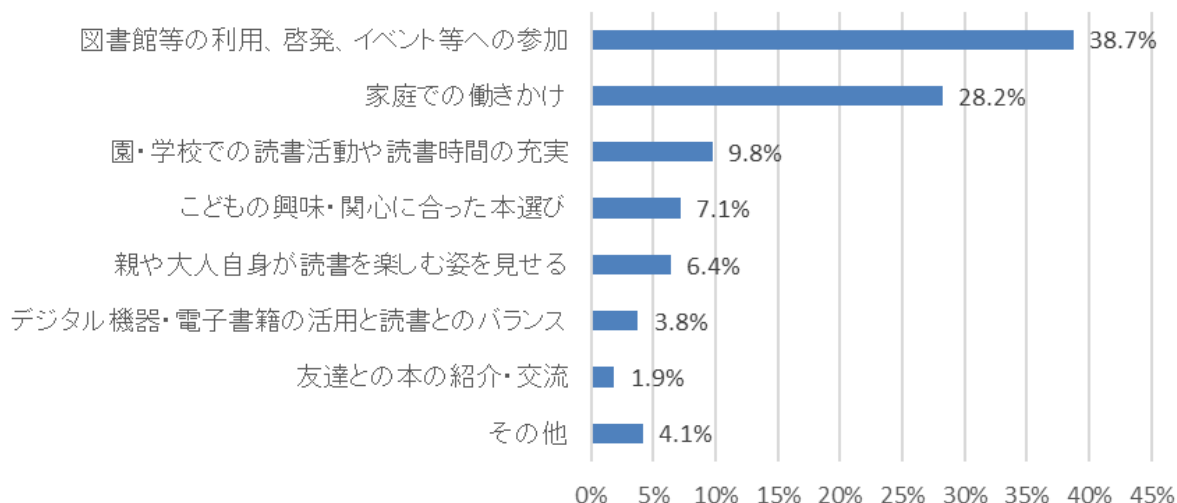
「幼いときから読み聞かせをする」(20.1%)が最も多く、次いで「家庭内でこどもの手に届くところへ本を置いておく」(17.8%)、「親や家族が本を楽しむ姿を見せる」(15.3%)となっています。家庭での読み聞かせや本に触れる環境づくり、家族で読書を楽しむ習慣づくりが重要と考えられている結果となっています。



【保護者】質問 10. こどもの読書活動・図書館への意見・要望（自由記述）

1. こどもの読書活動を活性化させるためには、どうしたらよいか？

図書館等の利用、読書推進につながるイベントへの参加、家庭での読み聞かせや親子で本を楽しむ時間を増やすことなどの取組が大切だとする意見が多くなっています。家庭や図書館、園・学校、地域が連携し、こどもの興味・関心や発達段階に応じた本との出会いをつくるとともに、それぞれの立場からこどもの読書を支えることが重要と考えられている結果となっています。

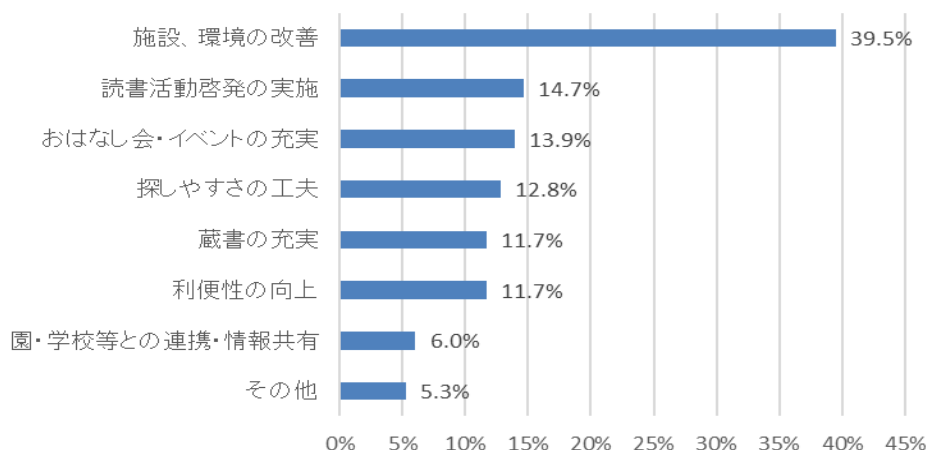


*（ ）は意見数

項目	主な意見
図書館・園文庫等の利用、啓発、読み聞かせ会・イベントへの参加・充実（103）	・ 図書館や園文庫を利用する機会を増やす ・ おはなし会や読み聞かせ会の開催機会を増やす ・ 楽しく参加できる体験型イベントを充実させる
家庭での働きかけ（75）	・ 家庭で読み聞かせを行う ・ 親子で本を読む時間をつくる ・ 小さい頃から本に親しむ習慣をつくる ・ 家庭に本が身近にある環境を整える
園・学校での読書活動や読書時間の充実（26）	・ 園・学校で読書する時間を設ける ・ 園で絵本に触れる機会を増やす ・ 保育活動に読書を取り入れる
こどもの興味・関心に合った本選び（19）	・ こどもの好きな本を選ぶ ・ こどもの興味や季節に合った本を選ぶ ・ こどもの発達段階に合った本を選ぶ
親や大人自身が読書を楽しむ姿を見せる（17）	・ 大人も本を読む ・ 親が楽しそうに読書する姿を見せる
デジタル機器・電子書籍の活用と読書とのバランス（10）	・ 電子書籍も活用する ・ スマートフォンより本に触れる時間が増やす
友達との本の紹介・交流（5）	・ 好きな本を紹介し合う ・ 本について話す機会をつくる
その他（11）	・ 市からの年齢に合った本や図書カードのプレゼント ・ こどもへのアンケートを実施する ・ 「ウエルカムベビー&キッズ Day」を開催する ・ 市民同士で本を譲り合う ・ 大型商業施設等で読み聞かせを行う ・ 市の東方にも図書館をつくってほしい

2. 市立図書館に対する望み

図書館への要望では、こどもや子連れでも安心して利用できる環境づくりへの期待が最も高く、キッズスペースや親子向け空間の整備に加え、本との出会いを広げる資料・イベントの充実や、子育て世帯が利用しやすいサービス向上が求められている結果となっています。



* () は意見数

項目	主な意見
施設の改善（こども向け・飲食・快適なトイレ・学習スペース、充実した駐車場、デジタル環境等）（105）	・こどもが多少騒いでも利用できるキッズスペースを設置する ・こどもと一般利用者のスペースを分ける ・カフェ、洋式・こども用トイレ、学習スペースを設置する ・Wi-Fi や電源スペースを整備し、駐車場を充実させる
読書活動啓発の実施（39）	・スタンプカードの活用や本等のプレゼント企画を実施する ・読書に関する級・段を設定する ・リユース市を開催する ・広報を充実させる
おはなし会・イベントの充実（37）	・おはなし会を増やしてほしい ・親子で参加できるイベントを充実してほしい ・読書の魅力が伝わる体験型イベントを開催してほしい ・平日開催や周知を充実してほしい
おすすめ本・展示・本を選びやすくする工夫（34）	・年齢別におすすめの本を紹介してほしい ・特集展示を充実してほしい ・本を探しやすくしてほしい ・本の内容が分かる紹介・表示をしてほしい
蔵書・新刊・人気本の充実（31）	・新刊や話題の絵本を増やしてほしい ・人気シリーズや図鑑を充実してほしい ・年齢やテーマに応じた本を充実してほしい ・多様なジャンルの蔵書や電子書籍を充実してほしい
返却・貸出・予約受取・開館時間の延長など利便性向上（31）	・返却ポストや予約資料の受取場所を増やしてほしい ・園・学校・駅などで本を借りられるようにしてほしい ・移動図書館を実施してほしい ・開館時間を延長してほしい
園、学校等との連携、情報共有（16）	・園や学校との情報共有を進めてほしい ・園・学校向けの絵本講座を実施してほしい ・園・学校などの団体利用を充実してほしい
その他（14）	・弁償ルールを改善し、汚破損を気にせず利用できる資料を充実してほしい ・こどもへのアンケートを実施してほしい ・「ウエルカムベビー&キッズ Day」等を設定してほしい ・保育士や気軽に相談できる司書を配置し、園や学校への読み聞かせボランティアを手配してほしい ・視聴覚ホールをガラス張りのスポーツジムに改装してほしい ・大型商業施設等で読み聞かせを実施してほしい

このページは白紙です

Ⅲ 調査表 様式



しょうがく ねんせい ねんせいよう
小学3年生・5年生用

どくしょ かん 読書に関するアンケート



おも
そうだと思うものに「○」をつけてください。

質問 1	5月の1か月間で本を読みましたか？ ※1つだけ選んでください（学校での朝読書や読書の時間、授業で読んだもの、宿題としての読書は入れないでください）	
1	読んだ（質問2へ進んでください）	2 読まなかった（質問3へ進んでください）
質問 2	なぜ、読書をするのか理由を教えてください。 ※そうだと思うものを、すべて選んでください（質問1で「読んだ」を選んだ人だけが答えてください）。	
1	おもしろいから	
2	自分ではできないことも、想像して本の中で体験できるから	
3	好きなことや興味あることに詳しくなったり、自分の考えが広く深くなったりするから	
4	役立つから（新しいことを知ったり、分からないことを調べたりすることができるから）	
5	きっかけがあったから（本好きな家族・先生・友だちなどからのしょうかい、話題の本やテレビ・映画・ゲームなどの原作本や関連本を読みたいから）	
6	身近に本があり、いつでも読めるから	
7	その他（ ）	
質問 3	なぜ、読書をしなかったのか理由を教えてください。 ※そうだと思うものをすべて選んでください（質問1で「読まなかった」を選んだ人だけが答えてください）。	
1	楽しくないから（文章や文字を読むことが苦手、興味が無い、めんどろ、読書がきらい）	
2	他のことのほうが楽しいから（スポーツ、しゅみ、テレビ、ゲーム、SNS など）	
3	時間がないから（放課後活動、クラブ活動、勉強、じゅく、習い事 など）	
4	読みたい本がない、何を讀んでいいかわからないから	
5	本よりもパソコンやスマートフォンの方が使いやすいし便利だから	
6	本がないから（借りたり買ったりする場所がない（遠い、連れて行ってもらえない）から）	
7	その他（ ）	
質問 4	あなたは小さいころ（または今も）、家で本を読んでもらいましたか（もらっていますか）。 ※1つだけ選んでください。	
1	よく読んでもらった	2 ときどき読んでもらった
3	あまり読んでもらわなかった	4 まったく読んでもらわなかった
5	覚えていない	
質問 5	おうちの大人の人は、よく本を読んでいますか。 ※1つだけ選んでください。	
1	読んでいる	2 ときどき読んでいる
3	あまり読んでいない	4 まったく読んでいない
		5 わからない

質問6 あなたは、読む本をどのようにして手に入れますか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。
1 市の図書館から借りる 2 学校図書館から借りる 3 学級文庫から借りる 4 友だちなどに借りる 5 自分の家の本 6 本屋さんなどで買う(買ってもらう) 7 スマートフォンやタブレットを使って「電子書籍」を読む 8 その他 ()
質問7 4～5月の間に、市の図書館や学校図書館などを利用しましたか。 ※利用したものをすべて、選んでください。
1 市の図書館・にこっと 2 学校図書館 (室) 3 学級文庫 4 その他 () 5 利用していない
質問8 あなたが行きたいと思う図書館は、どんな図書館ですか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。
1 新しくてきれいな本や、色々な種類の本や雑誌などがある 2 本のことや調べものの相談にのってくれる人がいる 3 宿題や勉強ができる学習席がある 4 自由に使えるパソコンやWi-Fiがある 5 グループ利用できるスペースがある 6 楽しいイベントや講座がある 7 リラックスできるコーナー (おしゃべりや、飲んだり食べたりできる) がある 8 利用したいときに開館している (開いている日が多く、利用できる時間が長い) 9 その他 ()
質問9 磐田市立図書館の電子書籍 (「読み放題」など) を、1人1台タブレットや、 おうちのパソコンやスマートフォンなどで読んだことがありますか。 ※1つだけ選んでください。
1 読んだことがある 2 読んだことは ないが、これからは読んでみたい 3 読んだことが ない 4 読んだことは ないが、これからも読みたいとは思わない
質問10 磐田市立図書館の電子書籍に、どんなジャンルのものがあったら読みたい ですか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。
1 ものがたり (小説) 2 好きなこと・しゅみに関する本 3 学習に役立つ本 (調べ学習・参考書・問題集) 4 まんが 5 ざっし 6 将来についての本 (進学・お仕事の本) 7 悩みや生き方のヒントになる本 8 日本語以外の本 (※電子書籍のなかには、外国語で読み上げてくれる本もあります) 9 その他 ()

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。 磐田市立中央図書館



中学生・高校生用

読書に関するアンケート



そうだと思うものに「○」をつけてください。

質問1 5月の1か月間で本を読みましたか？ ※1つだけ選んでください。

(学校での朝読書や、授業で読んだものは含まないでください)

1 読んだ(質問2へ進んでください)

2 読まなかった(質問3へ進んでください)

質問2 なぜ、読書をするのか理由を教えてください。 ※そうだと思うものを、すべて選んでください(質問1で「読んだ」を選んだ人だけが答えてください)。

1 おもしろ
面白いから

2 自分では経験できないことを経験でき、本の世界で想像を広げることができるから

3 好きなことや興味あることに詳しくなったり、自分の考えを発展させたりできるから

4 役立つから(知識を得たり、分からないことや宿題や課題を調べたりすることができるから)

5 読むきっかけがあったから(本好きな家族・先生・友達などからの影響、話題の本やテレビ・映画・ゲームなどの原作本や関連本を読みたいから)

6 身近に本があり、いつでも読めるから

7 その他 ()

質問3 なぜ、読書をしなかったのか理由を教えてください。 ※そうだと思うものを、すべて選んでください(質問1で「読まなかった」を選んだ人だけが答えてください)。

1 楽しくないから(文章や文字を読むことが苦手、興味がない、面倒、読書がきらい)

2 楽しいことが他にあるから(スポーツ、趣味、テレビ、ゲーム、インターネット、SNSなど)

3 時間がないから(部活動、放課後活動、勉強、塾、習い事などで忙しい)

4 何を読んでいいか分からない、読みたい本がないから

5 本よりも、パソコンやスマートフォンの方が、使いやすいし便利だから

6 本が手元にないから(借りたり買ったりする場所が近くにないから)

7 その他 ()

質問4 あなたは小さいころ、家で本を読んでももらいましたか。 ※1つだけ選んでください。

1 よく読んでもらった

2 ときどき読んでもらった

3 あまり読んでもらわなかった

4 まったく読んでもらわなかった

5 覚えていない

質問5 あなたは、読む本をどのようにして手に入れますか。

※あてはまるものをすべて選んでください。

※電子書籍とは：専用の電子機器(電子書籍リーダー)やパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどの画面上で読むことができる、本の内容をデジタルデータ化したもの

1 市の図書館から借りる

2 学校図書館から借りる

3 友だちなどから借りる

4 書店などで買う

5 スマートフォンやタブレットを使って「電子書籍」を読む

6 その他 ()

質問 6 4～5月の間に、市立図書館や学校図書館などを利用しましたか。 ※利用したものをすべて、選んでください。				
1 市立図書館	2 学校図書館（室）	3 学級文庫		
4 その他（	）	5 利用していない		
質問 7 あなたが行きたいと思う図書館は、どんな図書館ですか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。				
1 資料が充^{じゅうじつ}実している（本がきれい、情報が新しい、様々な分野の本や雑誌が豊富など） 2 本や調べものについて、気楽に相談できる図書館員がいる 3 宿題や勉強ができる学習席がある 4 電子化されている（自由に使用できるパソコンやWi-Fi^{ワイ ファイ}の設置、電子書籍の充^{じゅうじつ}実など） 5 設備が整っている（個のスペース、グループ利用ができるスペースの設置など） 6 中高生向けの楽しいイベントや興味深い講座^{きょうみ}、趣味を深める行事などが充^{じゅうじつ}実している 7 リラックスできるコーナー（おしゃべりや飲食が可能など）がある 8 利用したいときに開館している（開館日が多く、利用可能時間が長い） 9 その他（				
質問 8 磐田市立図書館の電子書籍を、パソコンやスマートフォンなどで、読んだことがありますか。 ※1つだけ選んでください。 ※磐田市立図書館の電子書籍は、R7.6.1 現在 約 12,000 点保有、雑誌は約 260 誌^{ほゆう}、読むことができます。				
1 読んだことがある	2 読んだことはないが、これからは読んでみたい			
3 読んだことがない	4 読んだことはないが、これからも読みたいとは思わない			
質問 9 磐田市立図書館の電子書籍に、どんなジャンルのものがあったら読みたいですか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。				
1 ものがたり（小説） 2 好きなこと・趣味に関する本 3 学習に役立つ本（調べ学習・参考書・問題集） 4 まんが 5 雑誌 6 将来についての本（進学・仕事の本） 7 悩みや生き方のヒントになる本 8 日本語以外の本（※電子書籍のなかには、外国語で読み上げてくれる本もあります） 9 その他（				
質問 10 本と電子書籍のどちらを利用したいですか。 ※1つだけ選んでください。				
1 本	2 電子書籍	3 どちらも	4 本の内容による	5 分からない
質問 11 中高生などが「もっと本を読む、図書館を利用する」には、どうすればよいですか？ ① もっと読書をするために必要なことは？ ② もっと図書館を利用してもらうために必要なことは？ ③ あなたが読んだ本で、おすすめがあればぜひ、教えてください（書名や作者名を記入）				
①【もっと読書、何が必要？】 _____				
②【もっと図書館利用、何が必要？】 _____				
③【おすすめ本は？】 _____				

ご協力ありがとうございました。 磐田市立中央図書館



保護者用

こどもの読書に関するアンケート



日ごろは、磐田市の図書館事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、読書をとおして こどもの健やかな成長を図るため、こどもの読書活動を推進する計画「第4次 磐田市子ども読書活動推進計画」を令和3年度に策定し、様々な取り組みを展開しております。その計画も今年度が最終年度となりました。このことから、現在、第5次計画の策定事務を進めております。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、保護者の方々のご意見を参考とさせていただきたく、アンケートに解答していただきますよう ご協力をお願いいたします。

該当するものに「○」をつけてください。

質問1 あなた（家族）は、お子さんに本を読んであげたり、お子さんと一緒に本を楽しんだりすることがありますか。 ※1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 ほぼ毎日読んでいる | 2 1週間に3回以上読んでいる |
| 3 1週間に1回以上読んでいる | 4 ほとんど読まない |

質問2 こどもの成長において読書は重要だと考えますか。 ※1つだけ選んでください。

- | | | |
|----------------|--------------|---------|
| 1 とても重要だと思う | 2 まあまあ重要だと思う | |
| 3それほど重要だとは思わない | 4 重要だとは思わない | 5 分からない |

質問3 お子さんの読書のための本は、どのようにして用意されることが多いですか。
※そうだと思うものをすべて選んでください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 通っている施設（園や子育て支援センター）から借りる |
| 2 市の図書館から借りる |
| 3 もらう（祖父母等からのプレゼント、友人・知人から譲り受けるなど） |
| 4 書店やインターネットサイトからの購入 |
| 5 電子書籍を利用する |
| 6 その他（ ） |

質問4 お子さんのための読書の本は、どのようにして選んでいますか。
※そうだと思うものをすべて選んでください。

- | |
|---|
| 1 通っている施設（園や子育て支援センター）で探す |
| 2 市立図書館で探す（おすすめ本、ブックリスト掲載本、特集コーナーの本 など） |
| 3 自分や家族がこどもの頃に読んだ本を探す |
| 4 園や子育て支援センターの先生や職員、図書館司書、友人などにすすめられた本を選ぶ |
| 5 インターネットやテレビの情報を参考にする |
| 6 その他（ ） |

質問5 ご家庭でこどもの本をどの程度、所有されていますか。※1つだけ選んでください。		
1 10冊未満	2 10～29冊	3 30～49冊
4 50冊以上	5 所有していない	
質問6 あなたのご家庭では、お子さんを図書館や書店に連れて行きますか。 ※1つだけ選んでください。		
1 2週間に1回以上	2 月に1回以上	3 3か月に1回以上
4 半年に1回以上	5 あまり連れて行かない	
質問7 こんな図書館なら、もっと利用したいと思う図書館はどんな図書館ですか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。		
1 資料が充実している（本がきれい、情報が新しい、様々な分野の本や雑誌などが豊富、おすすめ本や特集コーナーの設置、ブックリストがある など） 2 本や調べものについて、気楽に相談できる図書館員がいる 3 宿題や勉強ができる学習席がある 4 電子化されている（自由に使用できるPCやWi-Fiの設置、持ち込みPCブースの増設、電子書籍の充実 など） 5 設備が整っている（個のスペース、グループ利用ができるスペース、こども用トイレ・授乳室 など） 6 イベントの充実（おはなし会、映画会、講演会、工作教室、科学実験教室 など） 7 リラックスできるスペース（おしゃべりや飲食が可能 など）がある 8 利用したいときに開館している（開館日が多く、利用可能時間が長い） 9 子育て支援センター、園、学校などとの連携（団体貸出、図書館員による講座 など） 10 その他（ ）		
質問8 こどもが電子書籍を利用することをどう思われますか ※1つだけ選んでください。		
1 好ましい	2 好ましくない	3 分からない
4 その他（ ）		
質問9 こどもが読書好きになる、読書習慣を身につけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。 ※そうだと思うものをすべて選んでください。		
1 幼いときから読み聞かせをする 2 家族で図書館等(園文庫など)を利用する 3 親や家族が本を楽しむ姿を見せる 4 本の内容について親子・家族で話をする 5 こどもが好きな本をプレゼントする 6 親などがこどものための本を購入する 7 家庭内でこどもの手に届くところへ本を置いておく 8 出来るだけ家でテレビや動画などを見せない、スマートフォンなどを使わせない 9 その他（ ）		
質問10 こどもの読書活動を活性化させるためには、どうしたらよいと思いますか。 また、市立図書館に対してどのような望みがありますか。 ※自由に御記入ください		

ご協力ありがとうございました。 磐田市立中央図書館